

母娘の共同行動と母親の心理的幸福感に関する調査

株式会社ワコール / 聖心女子大学文学部 菅原健介教授
東京未来大学こども心理学部 鈴木公啓助教 共同研究

2013年 3月

株式会社ワコール

■母娘の共同行動と母親の心理的幸福感に関する調査

1. 調査概要	5
2. 対象者属性	6
3. 共同研究者のコメント	12
4. 母と娘の共同行動について	
(1) 娘と一緒にいること	16
(2) 娘と一緒に行動することで感じられる気分	18
(3) 娘と一緒に行動することで得られる満足感やメリット	19
(4) 今後、娘と一緒にやりたいこと	20
(5) 「現在娘と行っていること」と「今後娘とやりたいこと」の差異	22
(6) 娘と一緒に購入することが多いもの	24
5. 母娘関係における意識について	
(1) 娘にとっての母親の存在	25
(2) 母親にとっての娘の存在	26
(3) 娘からの呼ばれ方／娘がその呼び方を始めた時期	27
(4) 今後、娘に望むこと	28
(5) 今後、娘に伝えて(残して)いきたいもの	29
(6) 自身の母親から伝えられた(残された)もの	30
(7) 「今後、娘に伝えていきたいもの」と「母親から伝えられたもの」の差異	31
(8) 自身の母親の老後に対して行ったことや心がけたこと	32
6. <下着における>母と娘との関係性	
(1) 現在の、娘との下着購入経験の有無	34
(2) 娘の幼少期から思春期にかけての、娘との下着購入経験の有無	35
(3) 思春期に下着の共同購入をよく行っていた母娘のプロフィール	36
(4) 娘との下着に関する会話やコミュニケーション(年代別)	38
(5) 娘との下着に関する会話やコミュニケーション (思春期の下着の共同購入状況別)	39
(6) 娘が思春期だった頃に行っていた、下着に関する会話や コミュニケーション(年代別)	40
(7) 娘が思春期だった頃に行っていた、下着に関する会話や コミュニケーション(思春期の下着の共同購入状況別)	41
(8) 母から娘に伝えている、下着に関する行動や考え方(年代別)	42
(9) 母から娘に伝えている、下着に関する行動や考え方 (思春期の下着の共同購入状況別)	43
(10) 現在、娘に勧めたい、着用してほしい下着	44
7. 対象者の意識・価値観	45

母娘の共同行動と母親の心理的幸福感に関する調査

1. 調査概要

◇調査名称

「母娘の共同行動と母親の心理的幸福感に関する調査」

◇調査目的

- ・母娘の共同行動の実態とそれに関連する意識を明らかにする。
- ・どのような共同行動が、相互にとってどのようなメリットを生み、それがどのような心理的幸福感につながっているのかを、心のプロセスとして把握する。
- ・どのような条件が母娘の共同行動を促すのか、人口統計学的要因、母娘の関係性の要因、母親の心理的要因の側面について検討する。

◇調査対象

40歳から74歳の女性個人

居住地: 首都圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)

◇サンプル数

合計1,203サンプル(人)

◇調査方法

Web調査(インターネット調査)

◇調査実施時期

2012年9月14日(金)～16日(日)

◇調査実施機関

株式会社マクロミル

(注)本調査は、株式会社ワコール 広報・宣伝部 広報課が、
聖心女子大学文学部 菅原健介教授と東京未来大学こども心理学部 鈴木公啓助教
との共同研究として実施したものです。

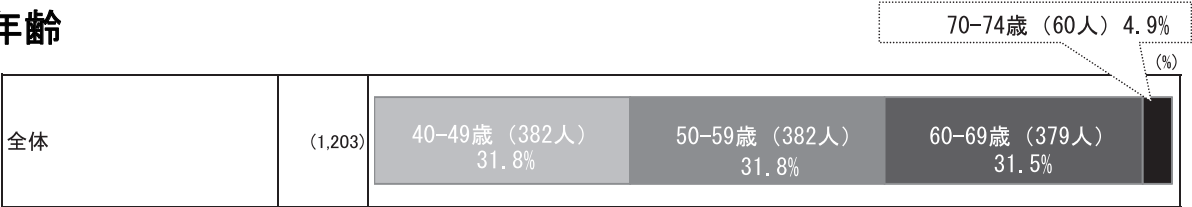
2. 対象者属性

◇対象者のプロフィール

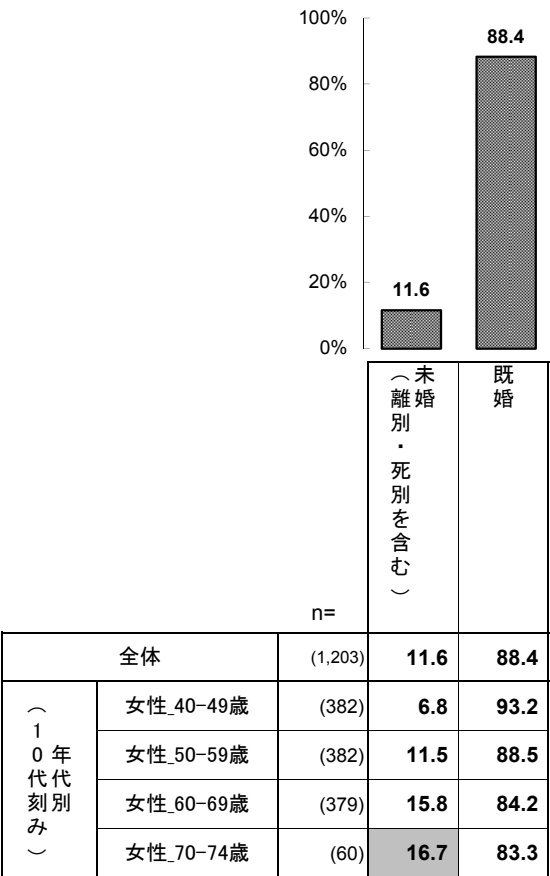
①年齢、未既婚、職業

- ・ 本調査では40歳代から70歳代までの広い年齢層を対象にしているため、対象者やその娘のライフステージも幅広くなります。このため母親の年齢によって、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代に分けて分析を進めていきます。
- ・ 40歳代、50歳代、60歳代におけるサンプル数は均等ですが、70歳代はややサンプル数が少なく、全体の5%となりました。また、「未婚」の割合は離別・死別を含むため、年代が高くなるほど増えていきます。

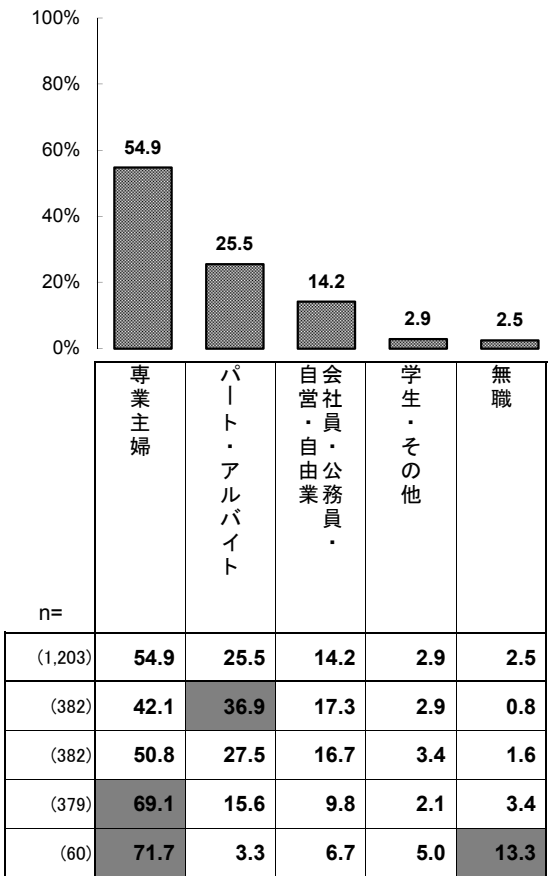
●年齢



●未既婚



●職業

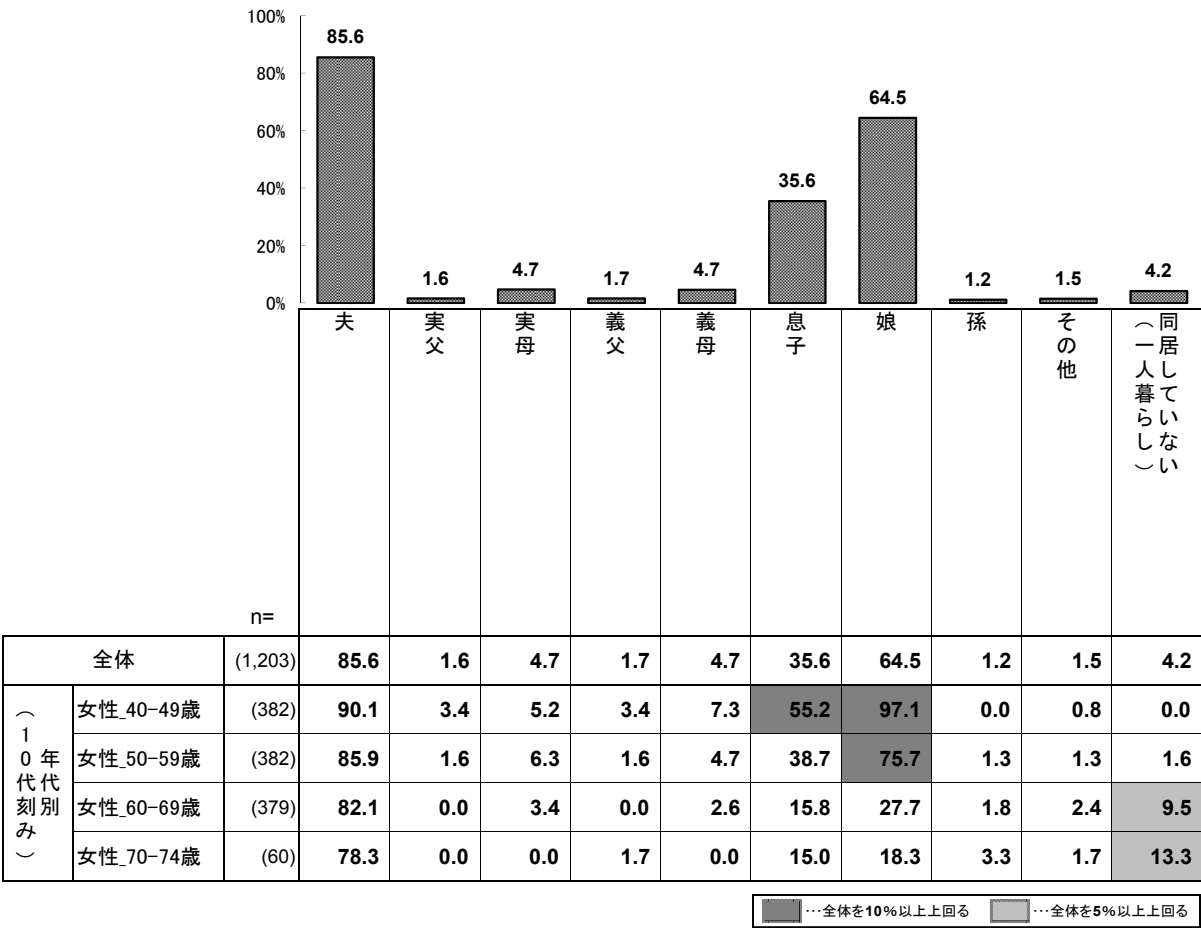


…全体を10%以上上回る …全体を5%以上上回る

②家族構成、世帯年収、最終学歴、対象者の母親の年齢(存命の場合)、子供の人数

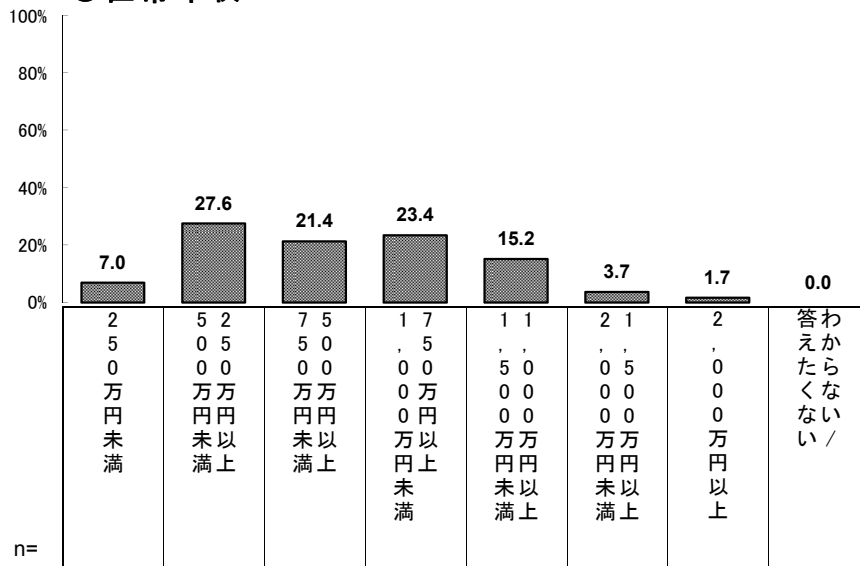
- ・ 40歳代ではほとんどが「娘」と同居しており、年齢の上昇とともにその割合が低下し、「同居していない（一人暮らし）」の割合が増加します。「娘」と同居している割合は60歳代を境に急激に低下しています。
- ・ 40歳代や50歳代では「750万円以上1,000万円未満」と回答する割合が最も高くなっていますが、60歳代や70歳代では「250万円以上500万円未満」の割合が最も高くなっています。

●家族構成



※本項の設問： あなたと同居している家族構成を以下の中から全て選んでください。※ご自身からみた続柄でお答えください。(複数回答)

●世帯年収



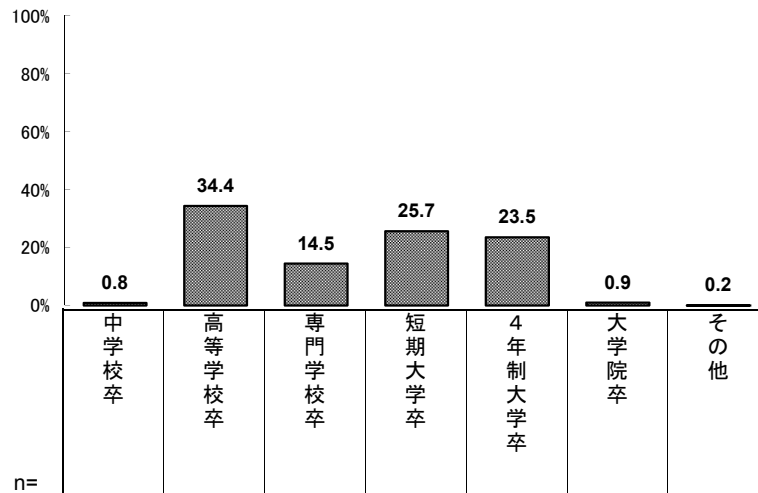
n=

全体		(1,203)	7.0	27.6	21.4	23.4	15.2	3.7	1.7	0.0
(10年代刻別み)	女性_40-49歳	(382)	5.2	15.7	29.9	30.1	15.2	3.4	0.5	0.0
	女性_50-59歳	(382)	5.0	19.6	16.2	27.8	22.3	6.0	3.1	0.0
	女性_60-69歳	(379)	9.2	43.8	19.0	14.3	9.8	2.1	1.8	0.0
	女性_70-74歳	(60)	16.7	51.7	15.0	11.6	5.0	0.0	0.0	0.0

※本項の設問： あなたご自身を含むご家族の世帯年収(税込み)をお選びください。(単一回答)

…全体を10%以上上回る …全体を5%以上上回る

●最終学歴



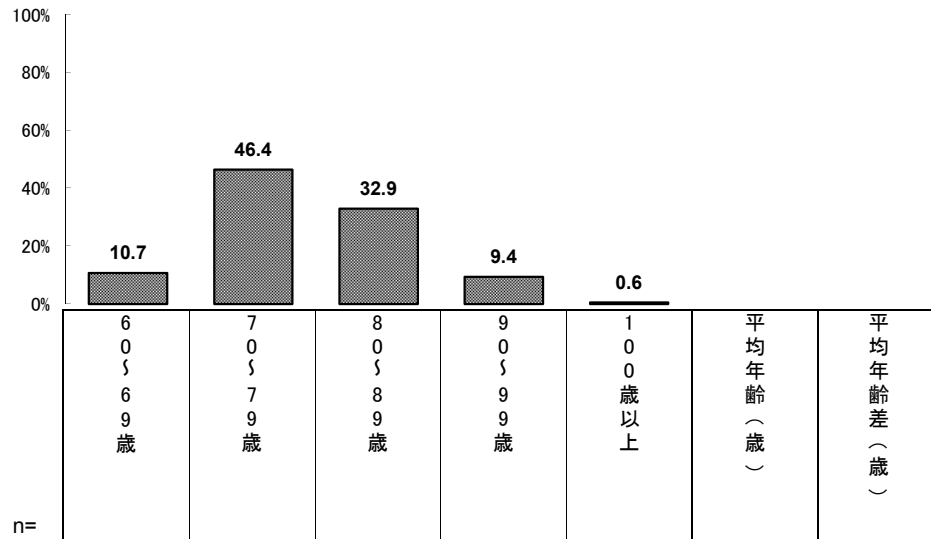
n=

全体		(1,203)	0.8	34.4	14.5	25.7	23.5	0.9	0.2
(10年代刻別み)	女性_40-49歳	(382)	0.0	33.2	18.9	26.4	21.2	0.3	0.0
	女性_50-59歳	(382)	0.3	25.9	13.9	28.5	28.5	2.4	0.5
	女性_60-69歳	(379)	2.4	41.1	11.6	23.0	21.6	0.3	0.0
	女性_70-74歳	(60)	0.0	53.4	8.3	20.0	18.3	0.0	0.0

※本項の設問： あなたの最終学歴を教えてください。(単一回答)

…全体を10%以上上回る …全体を5%以上上回る

●対象者の母親の年齢(存命の場合)

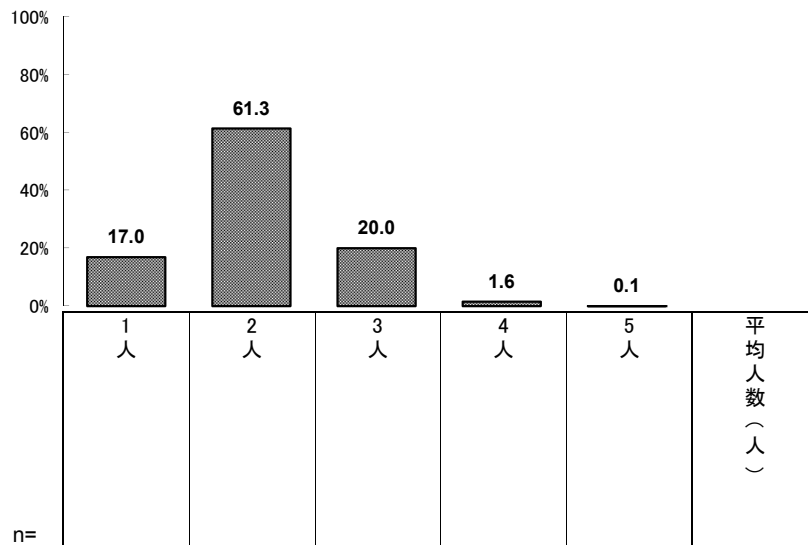


(10年代刻別み)	女性_40-49歳	(335)	23.0	71.3	5.7	0.0	0.0	72.7	27.7
	女性_50-59歳	(258)	0.4	38.0	58.1	3.5	0.0	80.9	26.9
	女性_60-69歳	(125)	0.0	0.0	56.0	42.4	1.6	89.2	25.9
	女性_70-74歳	(8)	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	96.1	25.1
	全体	(726)	10.7	46.4	32.9	9.4	0.6	78.7	27.1

…全体を10%以上上回る …全体を5%以上上回る

※本項の設問: あなたの実の母親がご存命の場合、年齢を教えてください。(数値回答)

●子供の人数



(10年代刻別み)	女性_40-49歳	(382)	19.4	62.6	17.5	0.5	0.0	2.0
	女性_50-59歳	(382)	20.7	58.1	19.3	1.6	0.3	2.0
	女性_60-69歳	(379)	12.4	62.8	21.9	2.9	0.0	2.2
	女性_70-74歳	(60)	6.7	65.0	28.3	0.0	0.0	2.2
	全体	(1,203)	17.0	61.3	20.0	1.6	0.1	2.1

…全体を10%以上上回る …全体を5%以上上回る

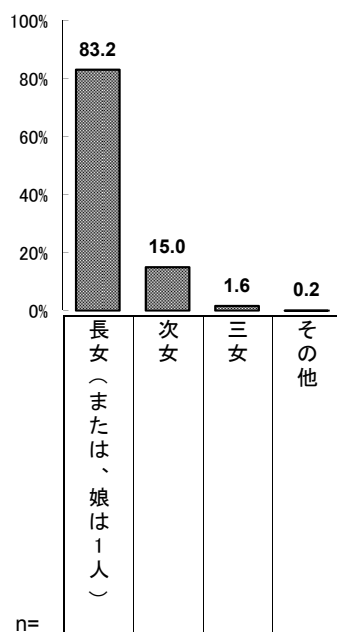
※本項の設問: あなたのお子さん(男女含む)は何人いらっしゃいますか?(数値回答)

◇対象者の娘のプロフィール

●姉妹の中での生まれた順、年齢、未既婚、子供の有無、職業の有無、 居住形態、会う頻度

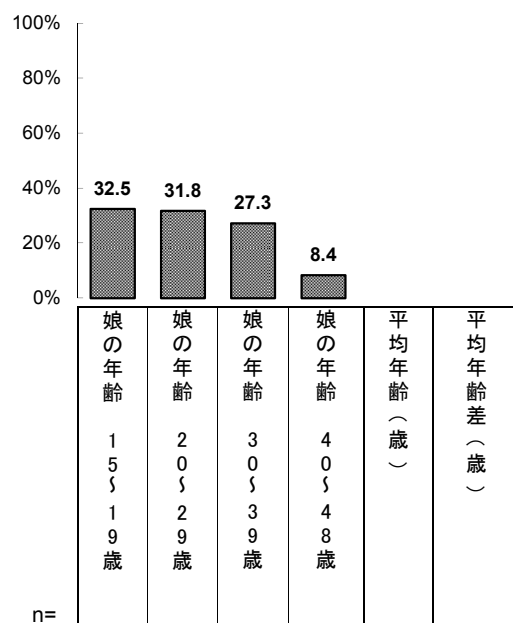
- ・年代に関係なく「長女」と回答する割合が高く、次女以降の回答は2割以下です。
- ・娘との平均年齢差は29.3歳となっており、40歳代を除くと、30歳前後に出産された方が多いことが考えられます。
- ・年代が高くなるほど、娘が結婚し、子供がおり、かつ仕事もしている割合が高くなっています。
- ・居住形態は、年代が若いほど「同居」の割合が高く、年代が高くなるほど遠い距離に住んでいるといった傾向がみられます。また、会う頻度については、年代が若いほど「ほぼ毎日」の割合が高く、年代が高くなるにつれて頻度が低下しています。

●姉妹の中での生まれた順



全体		(1,203)	83.2	15.0	1.6	0.2
(10年代代別み)	女性_40-49歳	(382)	86.4	12.0	1.6	0.0
	女性_50-59歳	(382)	83.2	15.2	1.6	0.0
	女性_60-69歳	(379)	79.7	18.4	1.6	0.3
	女性_70-74歳	(60)	85.0	11.6	1.7	1.7

●年齢



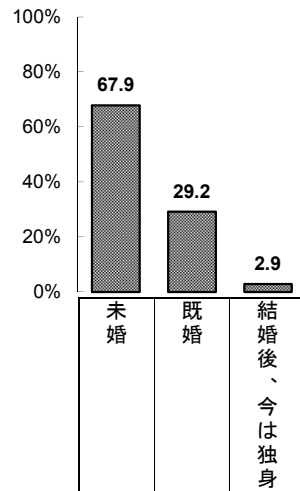
娘の年齢	割合 (%)	平均年齢 (歳)	平均年齢差 (歳)
娘の年齢 15歳以下	32.5	16.1	▲ 29.3
娘の年齢 16-19歳	31.8	17.3	▲ 27.8
娘の年齢 20-29歳	27.3	24.0	▲ 30.5
娘の年齢 30歳以上	8.4	34.6	▲ 29.6
平均年齢 (歳)		26.1	
平均年齢差 (歳)			▲ 29.2

※本項の設問：○○さんは姉妹の中で何番目ですか？（単一回答）

…全体を10%以上上回る …全体を5%以上上回る

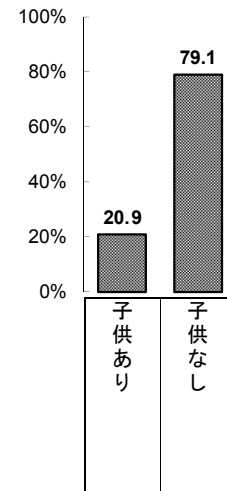
※本項の設問：あなたご自身の娘さんの現在の年齢を教えてください。（数値回答）
（義理の娘さんは除きます。娘さんが複数いる場合は、最近、最も接触する頻度の高い娘さんの年齢を教えてください。）

●未既婚



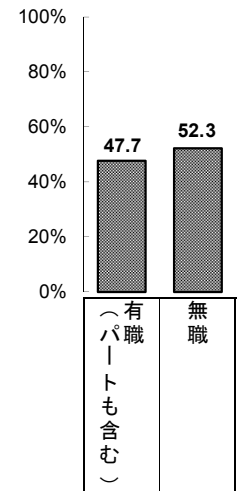
		n=			
全体		(1,203)	67.9	29.2	2.9
（10年代刻別み）	女性_40-49歳	(382)	95.3	3.9	0.8
	女性_50-59歳	(382)	79.9	18.3	1.8
	女性_60-69歳	(379)	35.9	58.8	5.3
	女性_70-74歳	(60)	20.0	71.7	8.3

●子供の有無



n=		
(1,203)	20.9	79.1
(382)	2.1	97.9
(382)	11.3	88.7
(379)	43.8	56.2
(60)	58.3	41.7

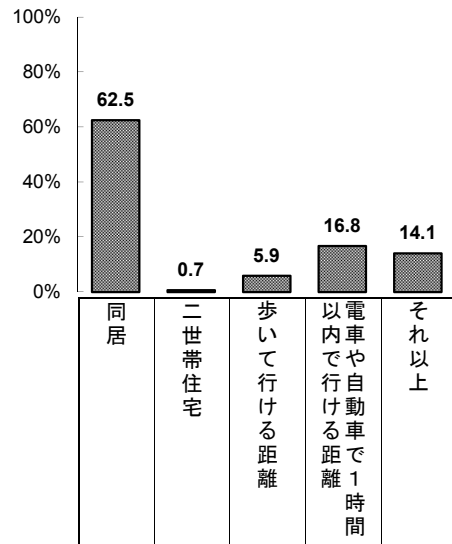
●職業の有無



n=		
(1,203)	47.7	52.3
(382)	13.1	86.9
(382)	59.4	40.6
(379)	66.5	33.5
(60)	75.0	25.0

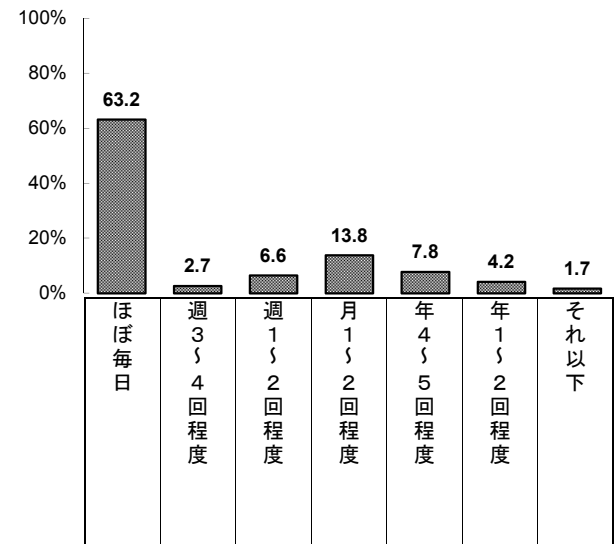
※本項の設問: ○○さんはご結婚されていますか? (単一回答) / ○○さんにお子さんはいらっしゃいますか? (単一回答) / ○○さんは現在、働いていらっしゃいますか? (単一回答)

●居住形態



		n=					
全体		(1,203)	62.5	0.7	5.9	16.8	14.1
(10年代刻別み)	女性_40-49歳	(382)	95.5	0.5	0.3	1.6	2.1
	女性_50-59歳	(382)	72.8	0.5	3.1	13.6	10.0
	女性_60-69歳	(379)	25.9	1.0	14.0	31.7	27.4
	女性_70-74歳	(60)	18.3	0.0	8.3	40.0	33.4

●会う頻度



n=							
(1,203)	63.2	2.7	6.6	13.8	7.8	4.2	1.7
(382)	95.3	0.5	0.3	1.8	0.5	1.1	0.5
(382)	74.1	1.8	3.4	9.7	8.9	1.6	0.5
(379)	27.2	5.8	14.8	27.2	12.9	8.7	3.4
(60)	18.3	1.7	15.0	31.6	15.0	11.7	6.7

※本項の設問: ○○さんのお住まいとの距離はどれくらいですか? (単一回答) / ○○さんとはどれくらいの頻度で会いますか? (単一回答)

■ …全体を10%以上上回る ■ …全体を5%以上上回る

近年、実の母娘関係が緊密化し、娘が青年期に達した以降や結婚後においても共に行動することが多くなってきています。結婚が夫の実家に「嫁」として嫁ぐことであり、実家に戻ることに心理的な障壁があった時代とは隔世の感があります。こうした状況の中、母娘がペアとなって行われるショッピングや旅行などの消費活動は一つの市場を形成しており、マーケティングの視点からも強い関心を持たれています。

こうした母娘の関係性はどのような動機によって支えられているのでしょうか。これまでの調査研究からは、母親に対する娘の経済的、心理的依存性が指摘され、いつまでも頼られる母親像が見えてきますが、母親側の視点に立った調査はほとんど行われていません。なぜ、母親は頼られることに甘んじているのでしょうか。あるいは、娘との共同行動には、母親なりのメリット感があるのでしょうか。

こうした点を検討するために、首都圏在住の娘を持つ40歳から74歳までの母親1,203名を対象に実の娘との関係について調査を行いました。娘が複数名いる場合は、最も接触機会のある対象を一人選んでもらいました。その娘の平均年齢は、母親が40歳代では17歳、50歳代では24歳、60歳代では35歳、70歳代では42歳でした。以下、おおまかな結果をまとめてみたいと思います。

1. 共同行動の実態

娘と一緒にすることとしては、「おしゃべり」の9割や「DVDやテレビを観る」の7割など、まずは日常の何気ないコミュニケーション行動の比率が高くなっています。続いて、買い物や食事なども6割から7割が「よく」あるいは「時々する」と回答しています。また「国内旅行」は4割が、「海外旅行」も2割が母と娘で行っています。

これらの行動を因子分析という統計的手法で分類してみると、母娘の共同行動の5つの領域が見出されました。「ショッピングと食事」、「日常会話」、「スポーツ」、それに、習い事やエステなどの「自分磨き」、そして、観劇や美術館めぐりなどの「文化活動」です。なお、旅行に関してはその中に様々なイベントが含まれているため、上記の特定の領域には収まっていませんでした。これらの5つの領域での行動の程度を指数化して、母親の年齢別にみると、全体に年齢が高くなるほど低下しますが、「文化活動」については年齢が高いほど経験度が上がっていく傾向が見られました。

2. 共同行動の楽しさ

このような共同行動を行うことでどのような心理的満足感が得られるのでしょうか。予備調査から得られた選択肢について尋ねたところ、「娘の成長がよくわかる」「良い気分転換・リフレッシュになる」「新たな思い出を共有できて嬉しい」「全く遠慮なく、言いたいことが言える」「いろいろとアドバイスしてあげられる」「最近の流行や新しい情報を知ることができる」「娘と一緒にいられるだけで楽しい」など多様な項目で7割以上が肯定していて娘との共同行動に対する母親の満足感の高さがうかがえます。

これらについても、因子分析によって分類すると共同行動の4つの楽しさが見出されました。“一緒にいることの楽しさ”“情報共有の楽しさ”“新たな体験の楽しさ”“若い気分の楽しさ”です。つまり、母親は娘との共同行動によって、共にいることを楽しみながら、お互いに役立つ情報を交換し、娘の誘いによって新たな世界を体験し、若々しい気分を味わうことができるようです。

これらを感じる程度を指数化し、母親の年齢との関係をみると、“一緒にいることの楽しさ”と“若い気分の楽しさ”は年齢に関係なく多くの母親に共有されており、これらが共同行動のベースになっているようです。“情報交換の楽しさ”は若い母親で高いようですが、“新たな体験の楽しさ”は逆に50歳代以上の母親で高い傾向にありました。若いうちは娘にアドバイスする機会も多いようですが、やがて、娘から得られる情報が自分に多くのメリットをもたらすようになるようです。

3. どんな行動が楽しさをもたらすのか

共同行動の機会が多い母親ほど、上記で見た4つの楽しさを感じていることは当然ですが、特に、そのコアとなる要素は何でしょうか。5つの共同行動の領域と4つの楽しみとの関係を分析してみると、「ショッピングと食事」と「日常会話」がすべての楽しさの源泉になっていることが分かりました。前者はアウトドア、後者はインドアでの活動が中心ですが、要するに、経験を共有しながらコミュニケーションを持つことが母親の満足感につながるようです。また、“新たな体験の楽しさ”については、「文化活動」との関連が見られました。観劇、映画、コンサート、展覧会等の文化的イベントを通して、母親は娘世代の新しい価値観に触れることができるようです。

4. 共同行動の楽しさと母娘関係

共同行動に楽しさを感じる母親は、娘との関係をどう位置付けているのでしょうか。共同行動に対して楽しさを感じる母親には次の2つの特徴が見られました。第一点は、娘を自分の情報源として役立つ存在と考えていることです。つまり、娘が今の流行や文化の情報に詳しく、自分の相談相手になってくれるほど、共同行動に対して様々な楽しさを感じているということです。第二点は、娘にとって自分が必要な存在であることが実感できるということです。すなわち、娘の導き手、守り手としてまだまだ自分の役割があり、そういう感覚が自分に元気や若々しさを感じさせてくれるようです。総じて言えば、娘から情報を得るとともに、親としての自分の役割を感じさせてくれることが、共同行動を楽しむことの心の背景と考えられます（図参照）。

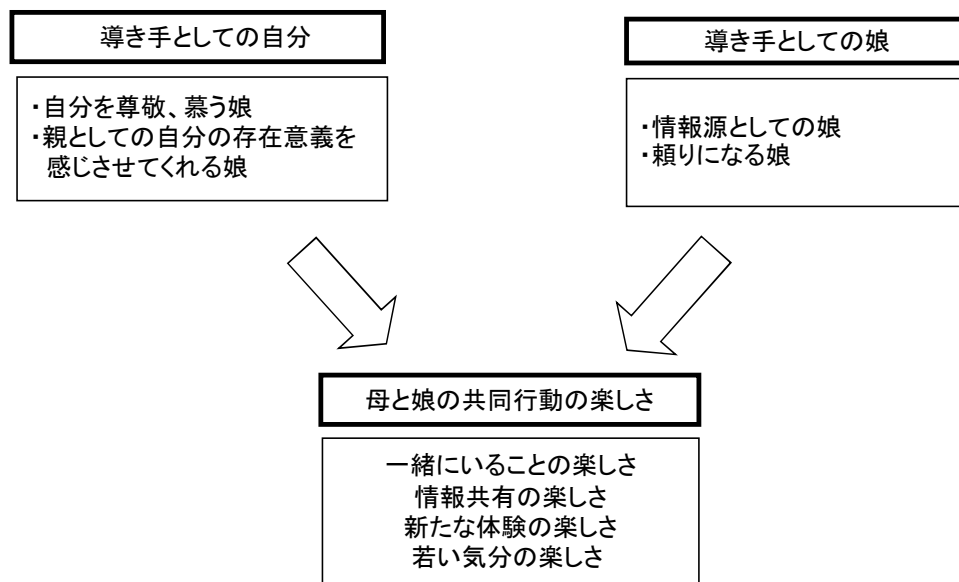


図 母と娘の世代間交流(共同行動)を成立させる心の背景

5. 下着の購入の実態

現在、母と娘で下着を一緒に購入するかどうかを尋ねると、「よく一緒に購入する」が15%、「時々購入する」が43%と6割近くが下着も共同でのショッピングの対象であることが示されました。購入の時期を娘の思春期に限定して尋ねると、「よく一緒に購入する」が36%、「時々購入する」が33%となり、「よく一緒に購入する」の割合が倍以上に多くなり、下着の共同購入のポイントがこの時期であることを示しています。

また、購入する場合、母娘でのコミュニケーションが行われるケースもあり、「女性にとって下着も身だしなみの一つだと教えている」「清潔な下着を身につけているかチェックしている」「下着の着心地の大切さを伝えている」などを2割から2割弱が回答しています。娘が思春期だった頃についても尋ねると、「思春期は人によってからだの成長に差があることを教えていた」「何歳からブラジャーを身につけたらいいか教えていた」「清潔な下着を身につけているかチェックしていた」などの会話は、4人に1人以上が経験ありと回答しています。

6. 下着を一緒に購入する母娘の特徴

下着を一緒に買う機会の多い母娘の特徴を検討したところ、まず、娘の年齢が若いという特徴が明確でした。これは娘が思春期において共同購入の経験が多かったという結果とも一致しています。これに加え、下着を一緒に買う母娘はショッピングや食事だけでなく、自宅内での会話も多く、共に行動すること自体の楽しみと情報交換の楽しみを強く感じる傾向があります。

また、一緒に買う頻度が多い母親ほど、下着の清潔さや試着の重要性等の情報を娘に伝えていますが、そうした母親は自分が娘にとって役立つ存在であり、きちんと日本人としての伝統的な良さを伝えたいと考える傾向があります。これらの傾向は娘の年齢の影響を取り除いた上でも示されますので、下着を娘と一緒に買う母親に共通する特徴と言えるでしょう。このように、娘と下着を購入することは、単なるショッピングの一つではなく、価値観の世代間伝達の間ともなっているようです。

7. まとめ

母親が娘と共に行動するのは、娘からの情報を得られるメリットと同時に、娘に対してもまだ役立つ自分がいることを実感できるという理由があるようです。母親としてのアイデンティティを実感することは、活力や若さにもつながり、中高年世代の幸福感の一つの源泉ともなっています。下着に関する文化も、こうした母娘の関係を通して伝達されていく様子も認められました。

■菅原 健介(すがわら けんすけ) プロフィール

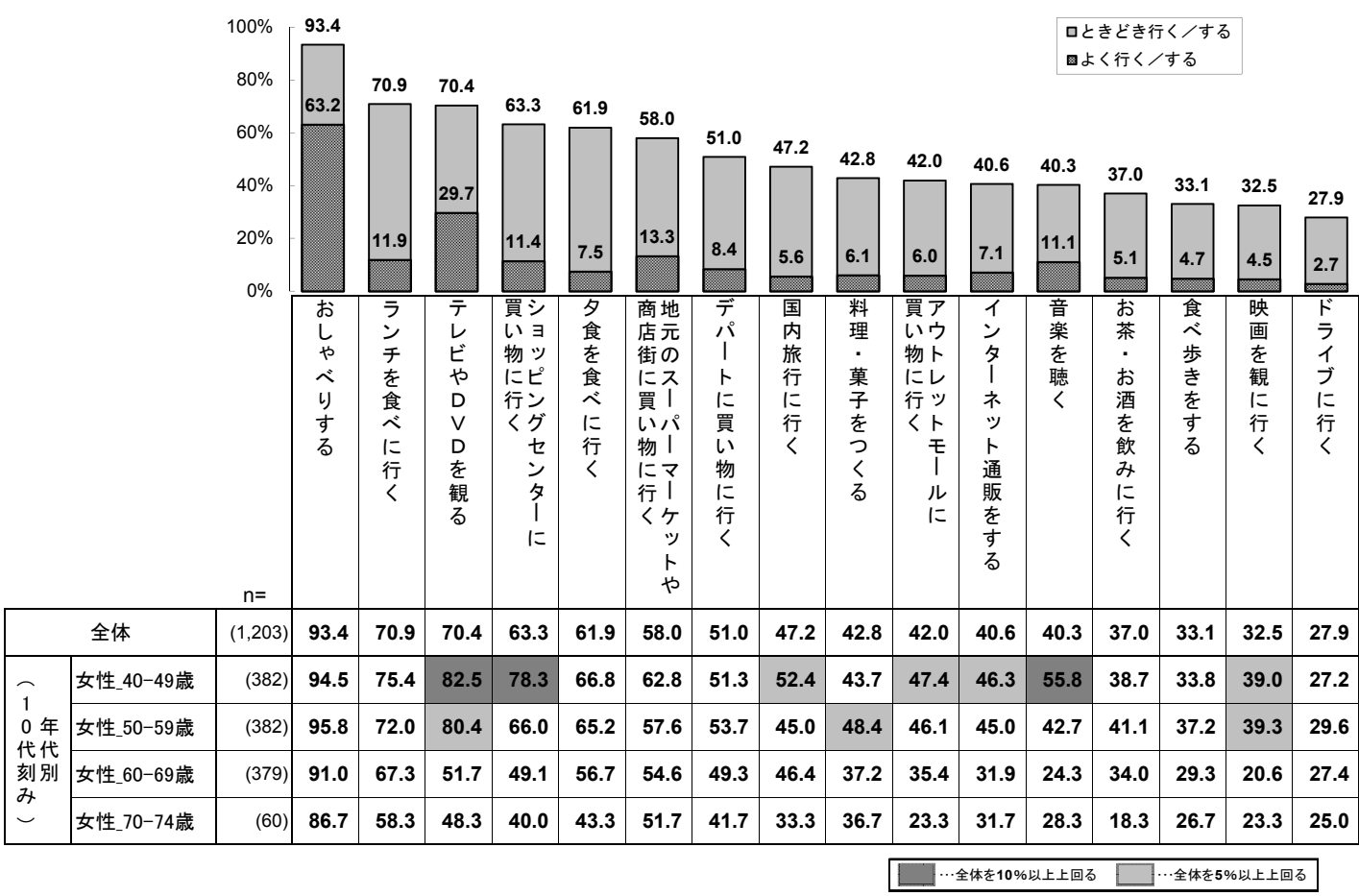
1958年東京都生まれ。横浜国立大学教育学部心理学科卒業。東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程心理学専攻修了。文学博士。現在、聖心女子大学文学部教授。専門は社会心理学、性格心理学。研究テーマは羞恥心、対人不安、自己呈示。著書に、『人はなぜ恥ずかしがるのか』(サイエンス社)、『羞恥心はどこへ消えた?』(光文社)、『下着の社会心理学』(朝日新聞出版)、編著書に、『ひとの目に映る自己』(金子書房)などがある。

4. 母と娘の共同行動について

(1) 娘と一緒にいること

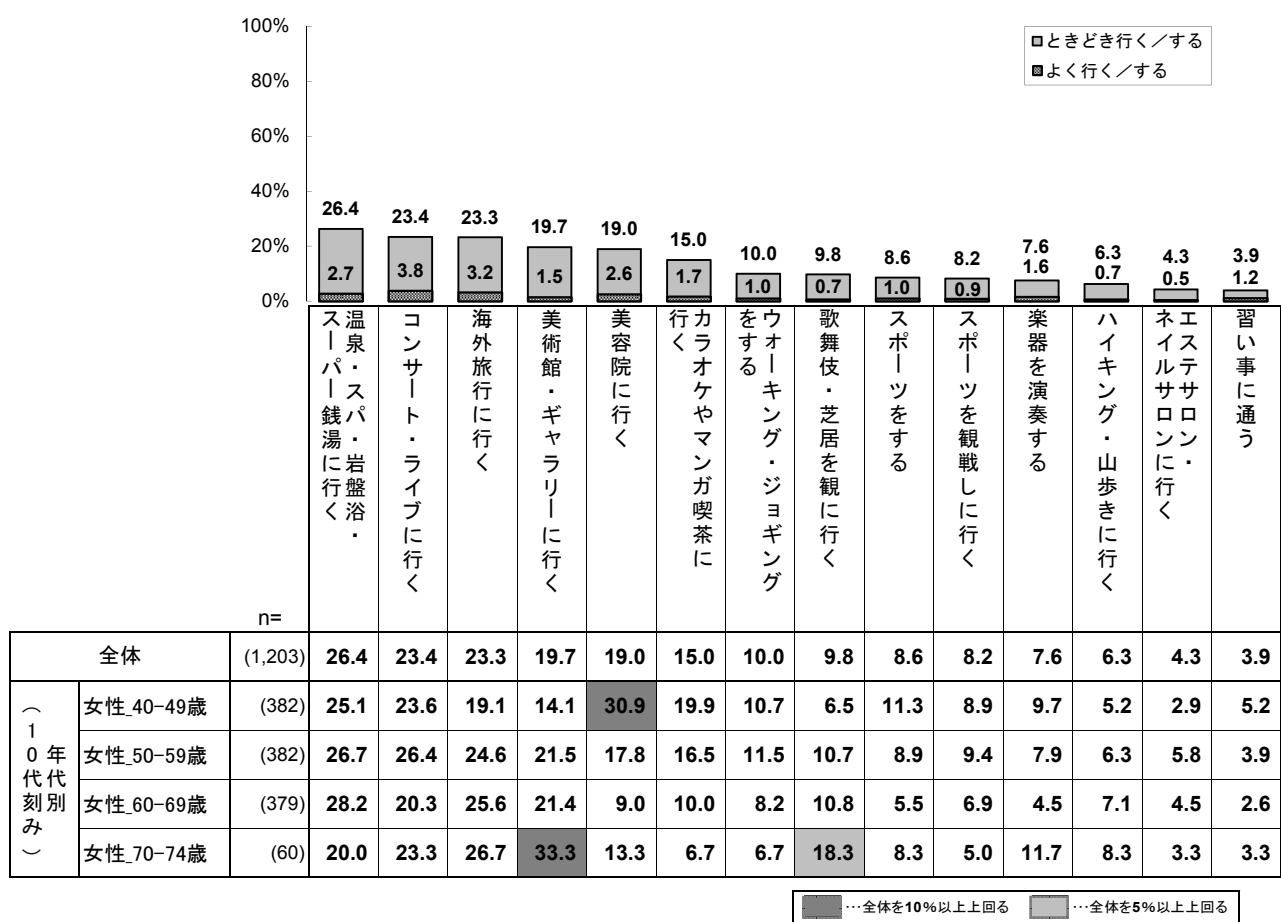
■ いずれの年代ともに「おしゃべりする」割合が最も高い。

- ・ 年代が若くなるほど各項目における割合が高くなっており、その中でも40歳代ではショッピングセンターやアウトレットモールなどへ「買い物に行く」という割合や、テレビやDVD・音楽を「一緒に観る・聴く」といった割合などが、他の年代よりも高く、「美容院に行く」といった割合も高くなっています。
- ・ また、70歳代では美術館・ギャラリーや歌舞伎・芝居といった芸術と一緒に鑑賞する割合が高く、文化活動を楽しむ割合が高くなっています。



※本項の設問： あなたが〇〇さんと一緒に行っていることについて教えてください。以下の項目をどの程度一緒に行ったり、したりしていますか？あてはまる程度を選んでください。（単一回答）

選択肢「全く行かない／しない」「あまり行かない／しない」「ときどき行く／する」「よく行く／する」から、「よく行く／する」「ときどき行く／する」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。



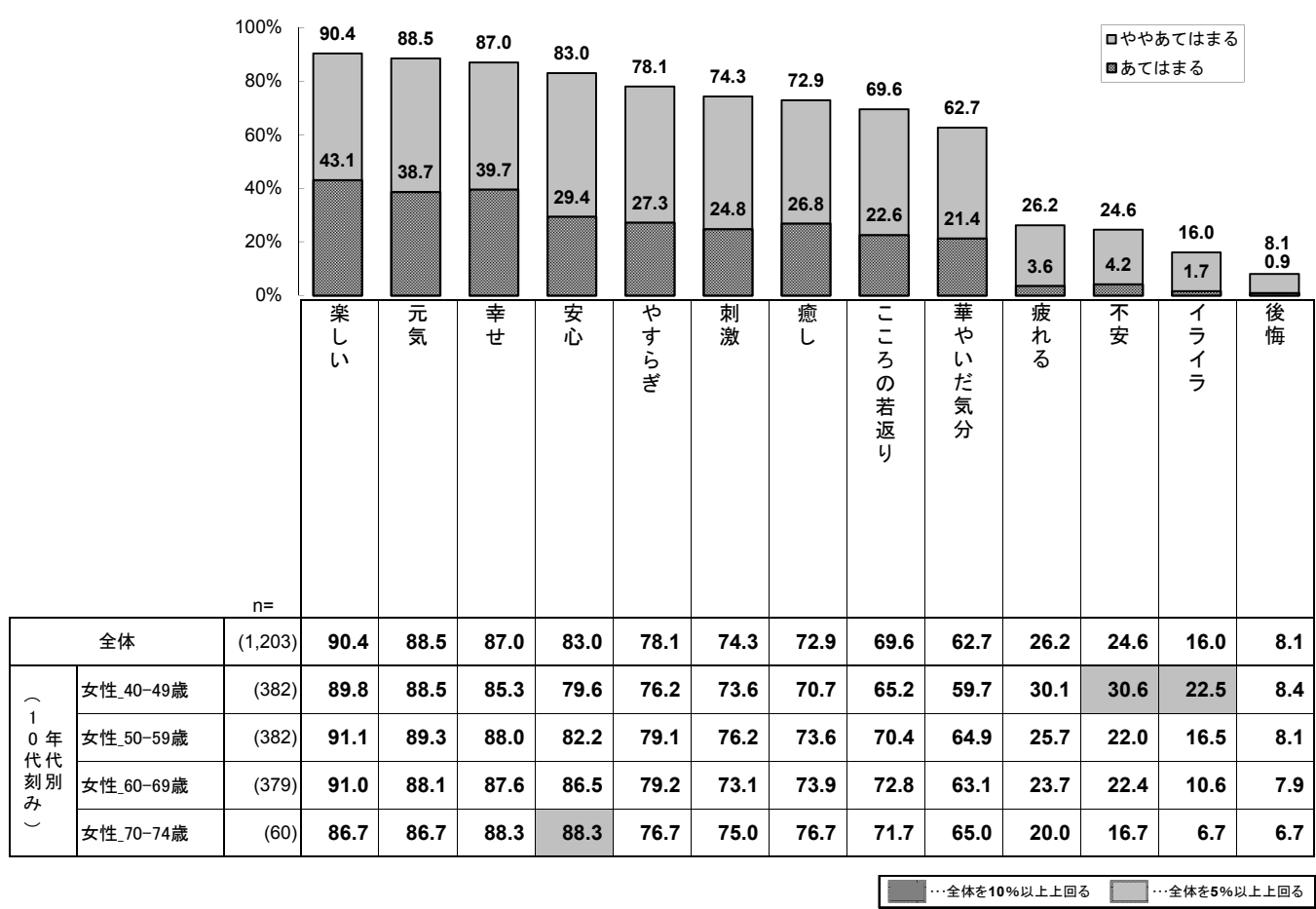
※本項の設問： あなたが〇〇さんと一緒に行っていることについて教えてください。以下の項目をどの程度一緒に行ったり、したりしていますか？あてはまる程度を選んでください。（単一回答）

選択肢「全く行かない／しない」「あまり行かない／しない」「ときどき行く／する」「よく行く／する」から、「よく行く／する」「ときどき行く／する」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(2) 娘と一緒に行動することで感じられる気分

■いずれの年代も娘と一緒に行動することで、「楽しい」「元気」「幸せ」といった、ポジティブな気分になれるという回答が9割程度と高い。

- ・年代が高くなるほど、「安心」や「癒し」という、おだやかな気持ちになれるといった項目の割合が高く、7割から9割程度までみられます。
- ・一方、年代が若くなるほど、「疲れる」「不安」「イライラ」といったネガティブな気持ちになる割合が高くなる傾向がみられます。

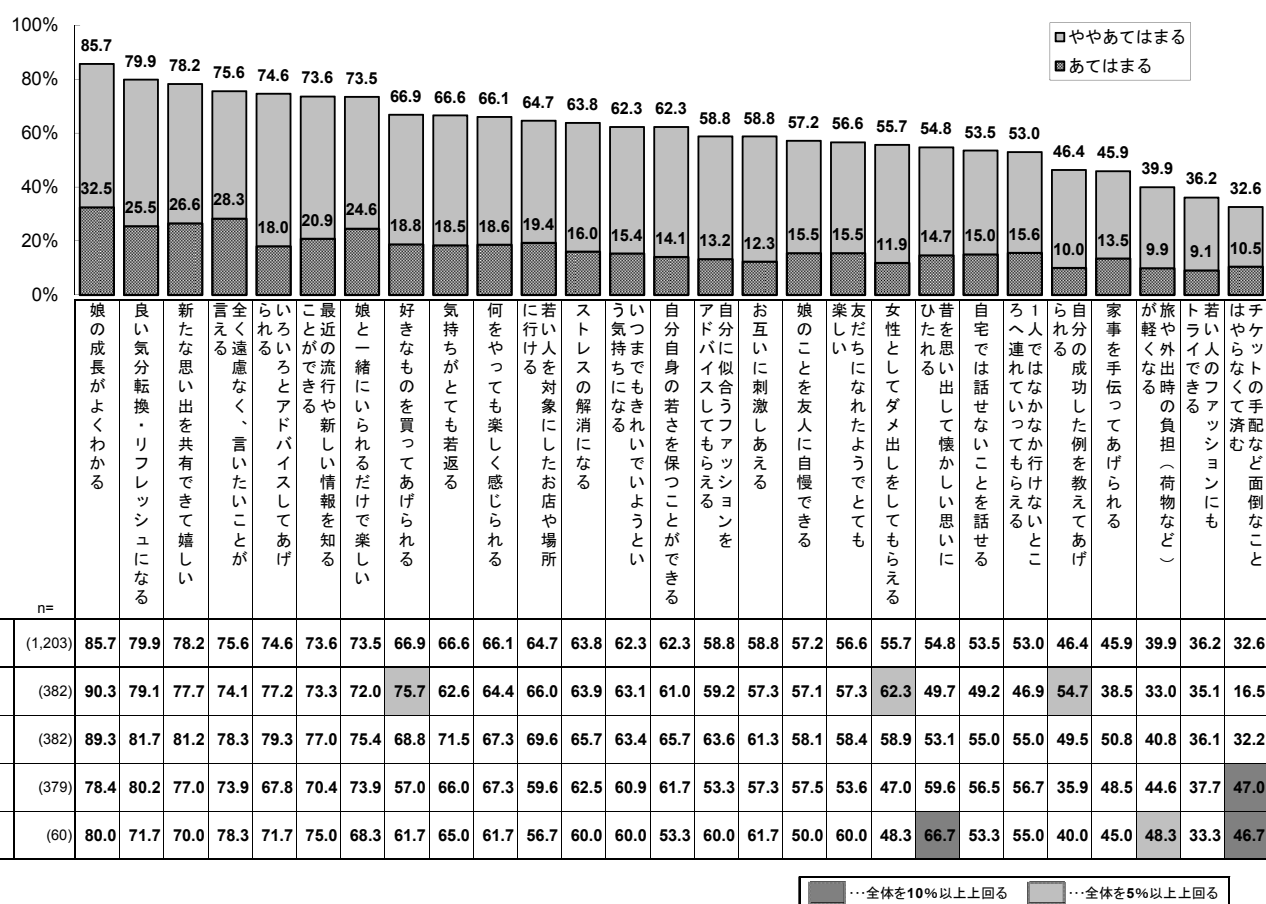


※本項の設問： あなたが〇〇さんと一緒に行動することで感じられる気分について、以下の項目はどの程度あてはまりますか？あてはまる程度を選んでください。（単一回答）
選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」から、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(3) 娘と一緒に行動することで得られる満足感やメリット

■「娘の成長がよくわかる」「遠慮なく言いたいことが言える」といった親としての立場からの意見が多いとともに、「新たな思い出を共有できること」や「一緒にいられるだけで楽しい」といった、自分自身の幸福感に関する項目における割合も7割を超えて高い。

- ・全体的に割合が高く、上位項目では年代別における大きな違いはみられません。
- ・60歳代や70歳代といった高い年代では、「チケットの手配など面倒なことはやらなくて済む」「旅や外出時の負担が軽くなる」などで割合が高くなっています。



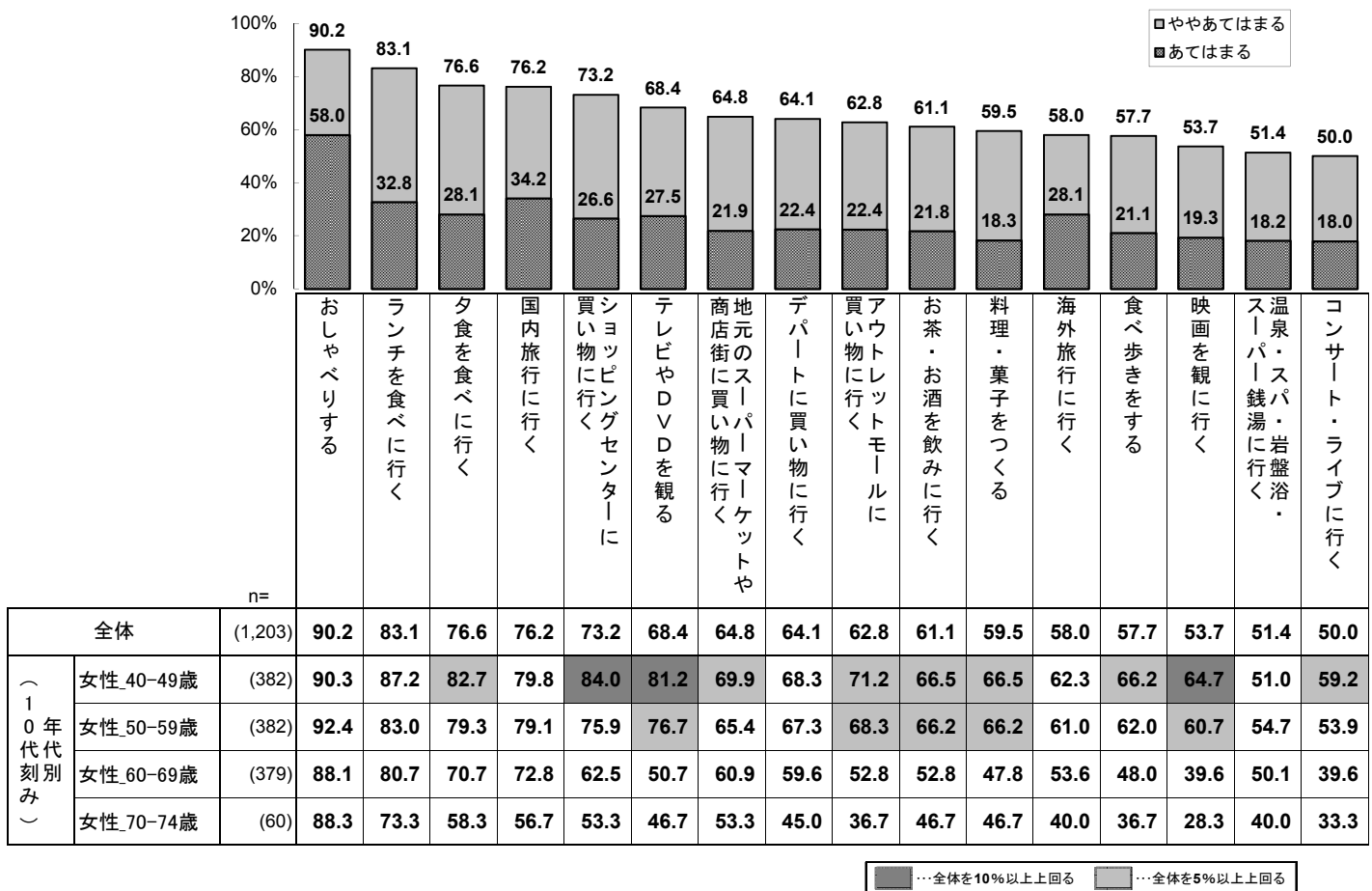
※本項の設問：前問の項目のような場所と一緒に行き得る満足感やメリットについて、以下の項目はどの程度あてはまりますか？あてはまる程度を選んでください。（単一回答）

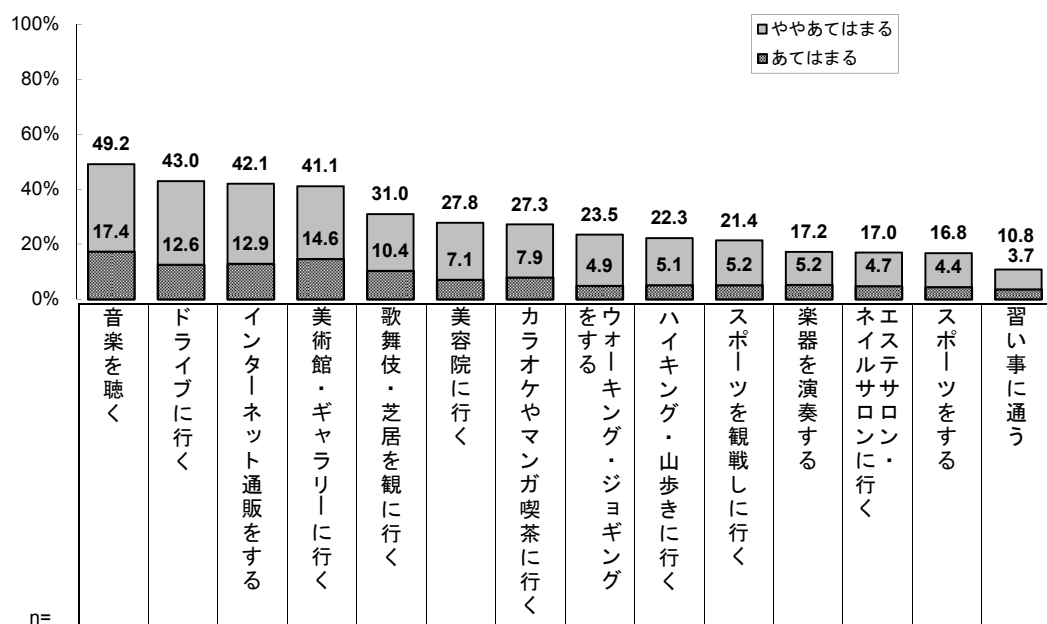
選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」から、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(4) 今後、娘と一緒にやりたいこと

■ 今後、娘と一緒にやりたいことは、おしゃべり、食事、旅行、買い物。

- ・ おしゃべり、食事、旅行については年代別による違いはあまりみられず、いずれの年代とも割合が高くなっています。また、買い物については、若い年代ほど割合が高い傾向がみられます。
- ・ 若い年代では、現在、娘と一緒にいることで割合の高かった、ショッピングセンターやアウトレットモールでの買い物や、テレビやDVDを観たり、音楽を聴くといったことにおいても、引き続き娘と一緒に行ないたいと思う割合が高くなっています。





全体		n=	音楽を聴く	ドライブに行く	インターネット通販をする	美術館・ギャラリーに行く	歌舞伎・芝居を観に行く	美容院に行く	カラオケやマンガ喫茶に行く	ウォーキング・ジョギングをする	ハイキング・山歩きの行く	スポーツを観戦しに行く	楽器を演奏する	エステサロンに行く	スポーツをする	習い事に通う
		(1,203)	49.2	43.0	42.1	41.1	31.0	27.8	27.3	23.5	22.3	21.4	17.2	17.0	16.8	10.8
(10年代別み)	女性_40-49歳	(382)	61.5	42.4	46.6	36.4	30.6	41.6	38.7	26.7	22.0	27.7	21.2	22.0	21.7	14.4
	女性_50-59歳	(382)	52.9	45.8	47.6	42.4	32.7	27.7	29.6	28.0	25.1	23.8	18.1	18.6	17.8	12.6
	女性_60-69歳	(379)	35.1	41.2	33.5	44.9	30.1	16.4	16.6	17.4	21.1	13.7	12.4	11.9	11.6	6.6
	女性_70-74歳	(60)	36.7	40.0	31.7	40.0	28.3	13.3	6.7	13.3	13.3	15.0	16.7	6.7	11.7	3.3

…全体を10%以上上回る
 …全体を5%以上上回る

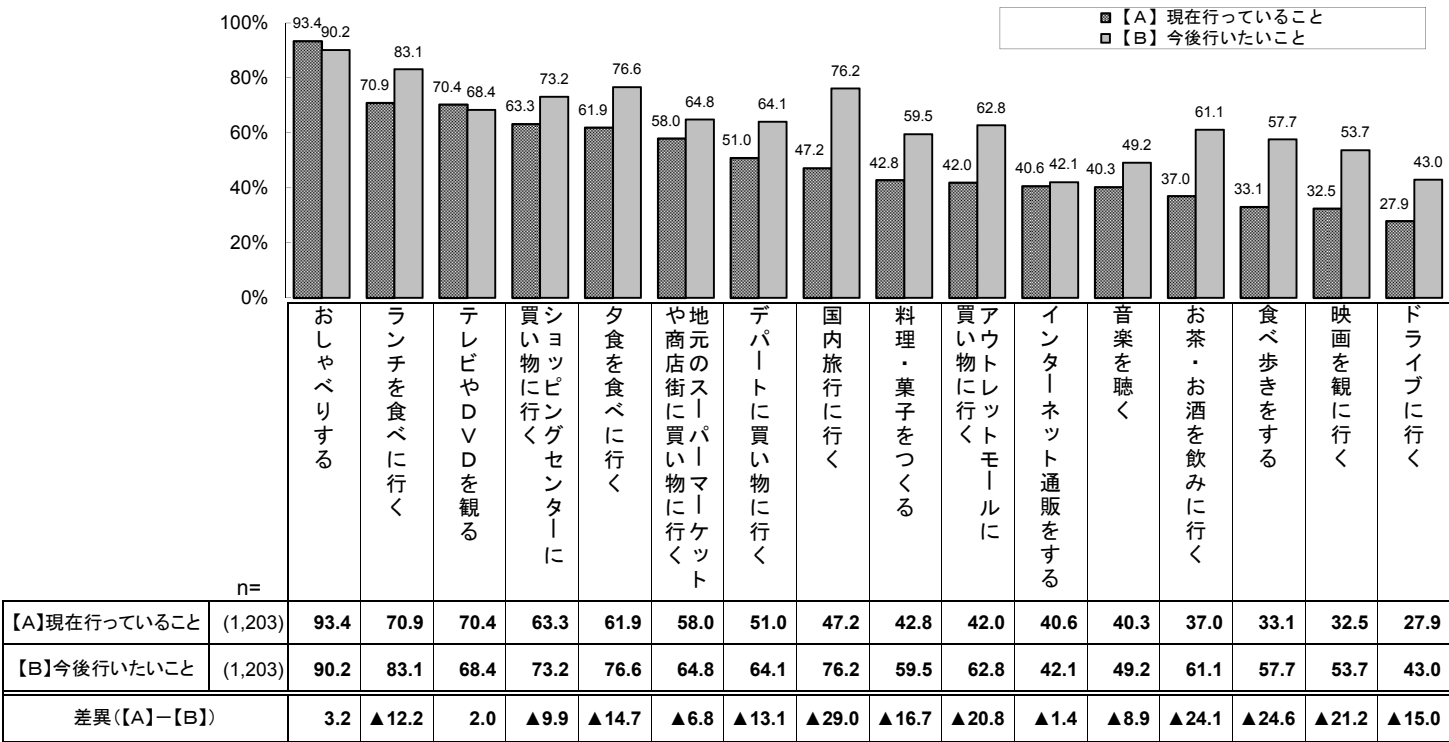
※本項の設問： 今後、あなたが〇〇さんと一緒にやりたいことについて、以下の項目はどの程度あてはまりますか？あてはまる程度を選んでください。（単一回答）

選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」から、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(5)「現在娘と行っていること」と「今後娘と行いたいこと」の差異

■海外や国内を旅行することについて、差が大きく、現在行えていないが、今後はぜひ行いたいという意識が強い。

- ・多くの行動で今後娘と一緒にやりたいと思っている割合が高くなっています。
- ・特に、「海外旅行」や「国内旅行」といった、レジャー関連の項目については差異が大きくなっており、今後娘と一緒にやりたいと思っている割合が高くなっています。

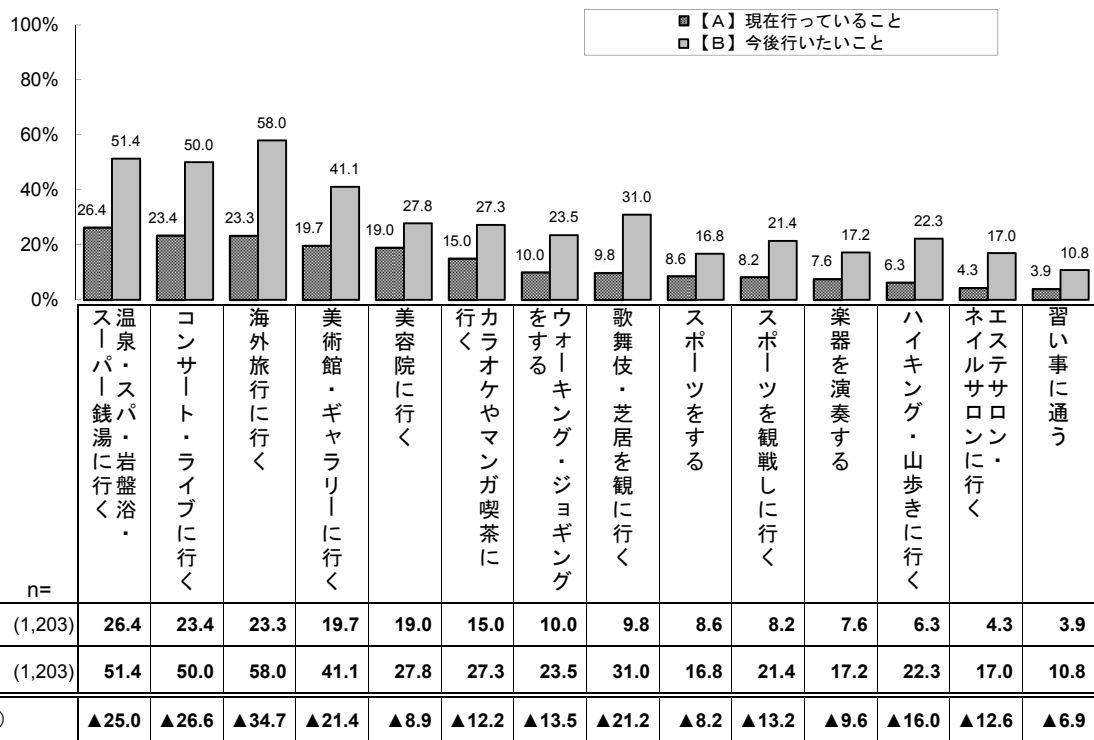


※本項の設問：あなたが〇〇さんと一緒に行っていることについて教えてください。以下の項目をどの程度一緒に行ったり、したりしていますか？あてはまる程度を選んでください。（単一回答）

※本項の設問：今後、あなたが〇〇さんと一緒にやりたいことについて、以下の項目はどの程度あてはまりますか？あてはまる程度を選んでください。（単一回答）

選択肢「全く行かない／しない」「あまり行かない／しない」「ときどき行く／する」「よく行く／する」から、「よく行く／する」「ときどき行く／する」と回答したパーセンテージを、

「現在行っていること」のポイントの高い順にグラフに表記した。



※本項の設問：あなたが〇〇さんと一緒に行っていることについて教えてください。以下の項目をどの程度一緒に行ったり、したりしていますか？あてはまる程度を選んでください。（単一回答）

※本項の設問：今後、あなたが〇〇さんと一緒にやりたいことについて、以下の項目はどの程度あてはまりますか？あてはまる程度を選んでください。（単一回答）

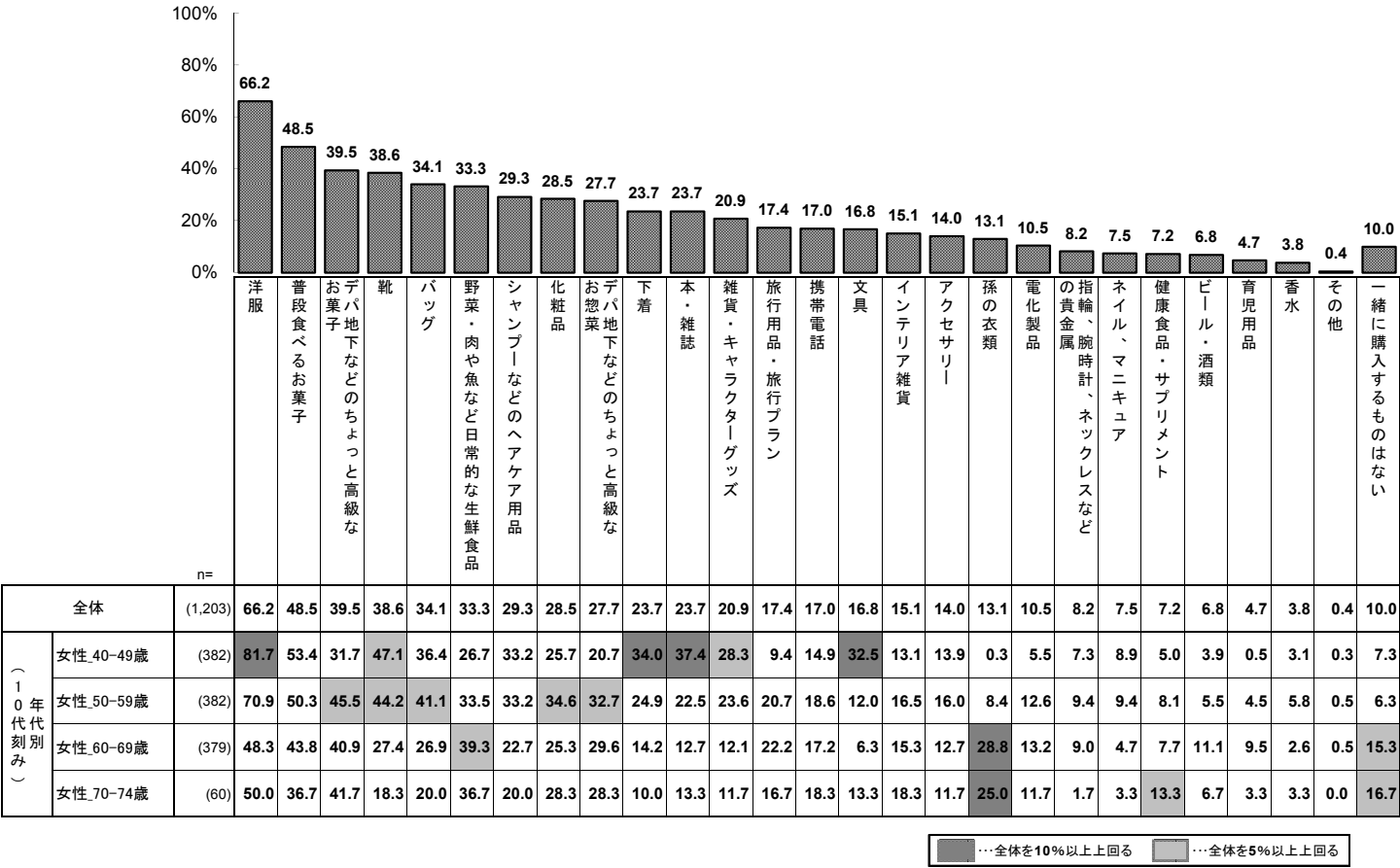
選択肢「全く行かない／しない」「あまり行かない／しない」「ときどき行く／する」「よく行く／する」から、「よく行く／する」「ときどき行く／する」と回答したパーセンテージを、

「現在行なっていること」のポイントの高い順にグラフに表記した。

(6)娘と一緒に購入することが多いもの

■上位3位は、「洋服」「普段食べるお菓子」「デパ地下などのちょっと高級なお菓子」。

- ・全体的に、40歳代や50歳代では割合が高い傾向がみられます。
- ・上位項目である洋服や下着、靴といった装飾品は、年代が若いほど一緒に購入している割合が高く、本や雑誌、文具といったものも、同じ傾向がみられます。
- ・一方、60歳代や70歳代では「孫の衣類」を一緒に購入する割合が高くなっています。



※本項の設問：あなたが〇〇さんと一緒に購入することが多いものについて、あてはまるものを下記の中からいくつでもお選びください。（複数回答）

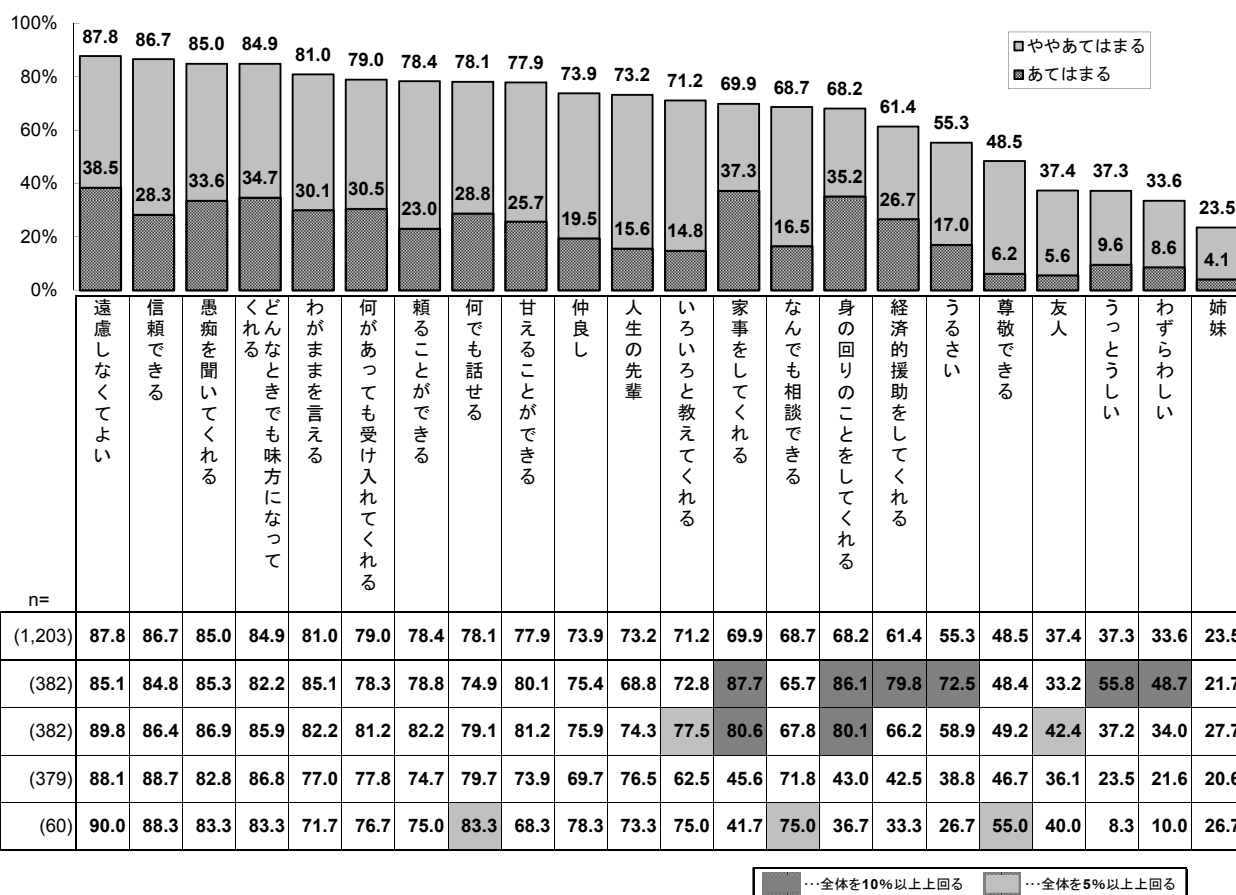
回答のあったパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

5. 母娘関係における意識について

(1) 娘にとっての母親の存在

■娘にとって、母親は「遠慮しなくてよい」存在であるとともに、家事や身の回りのことをしてくれる存在であると思っている割合も比較的高い。

- ・親という役割以外に自分はどのような存在であるかを尋ねたところ、年代を問わず、「遠慮しなくてよい」「信頼できる」「どんなときでも味方になってくれる」存在であると感じている割合が高く、娘から深い信頼や安心感を持たれていると考えています。



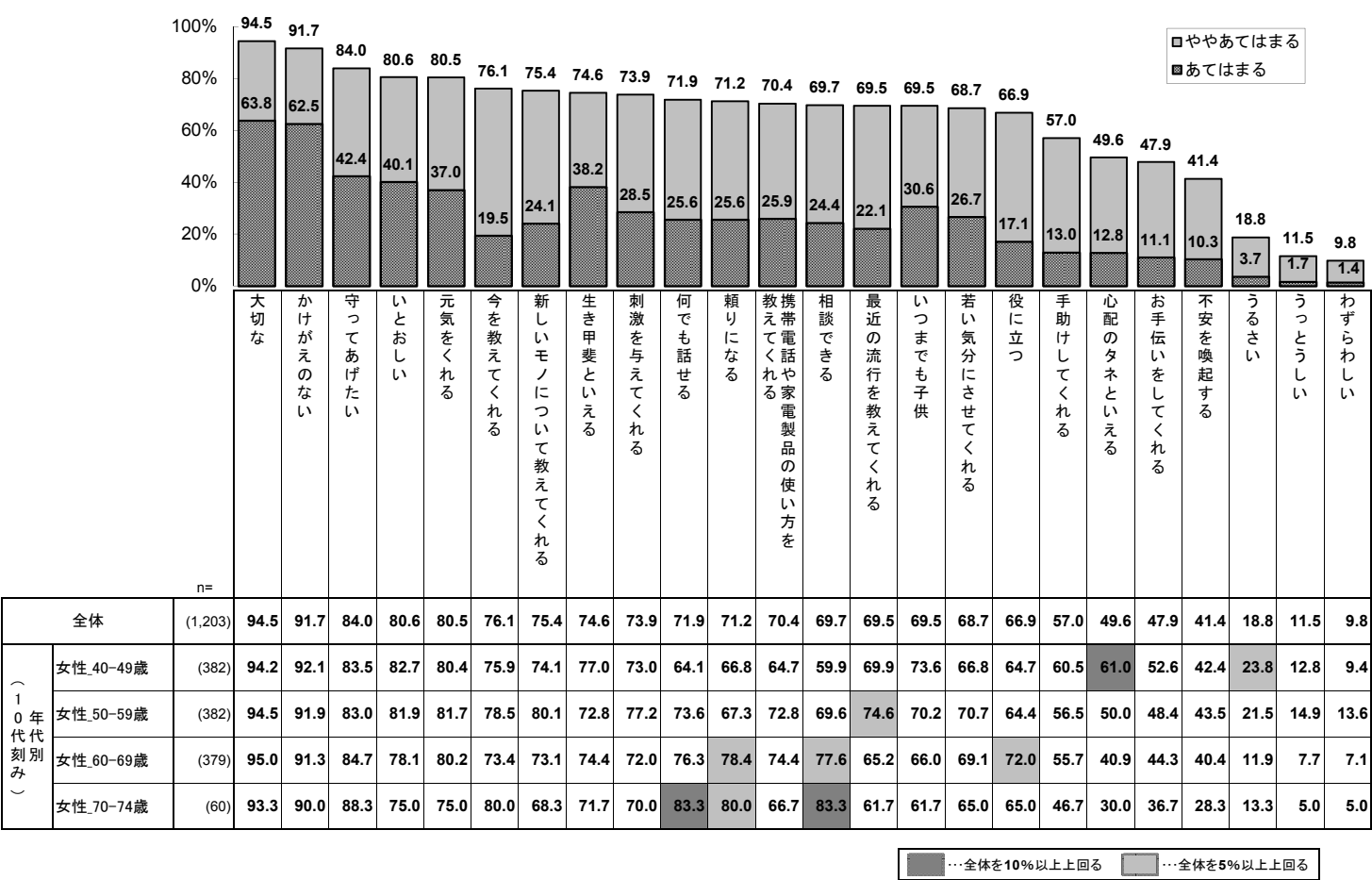
※本項の設問：現在のあなたは「親」という以外に、〇〇さんにとってどのような存在だと思いますか？以下の項目について、あてはまる程度を選んでください。（単一回答）

選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」から、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(2)母親にとっての娘の存在

■年代を問わず、「大切な」「かけがえのない」存在である
と思っている割合が高い。

- ・年代が高いほど、娘は「何でも話せる」「相談できる」「頼りになる」存在であると感じており、頼りにしている割合が高い傾向がみられます。
- ・一方、年代が若いほど「心配のタネ」や「うるさい」という意識が強く、「手助けしてくれる」「お手伝いをしてくれる」存在であると感じている割合が高くなっています。



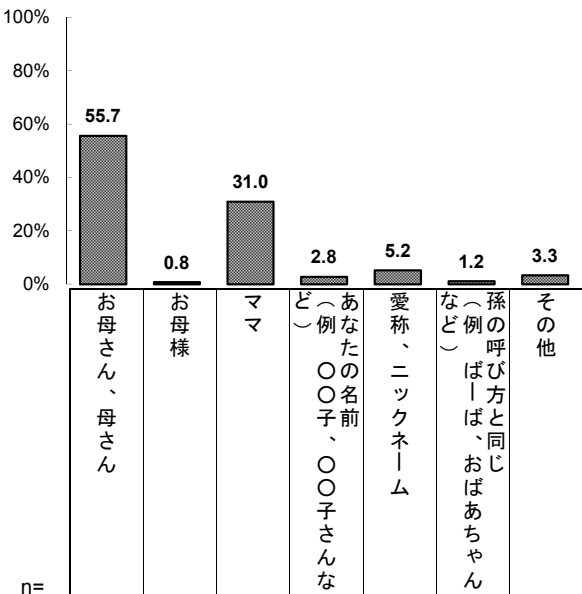
※本項の設問： 逆に、あなたにとって〇〇さんはどのような存在でしょうか？ 以下の項目について、あてはまる程度を選んでください。（単一回答）
選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」から、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(3)娘からの呼ばれ方／娘がその呼び方を始めた時期

■半数以上が、娘から「お母さん、母さん」と呼ばれており、3割程度が「ママ」と呼んでいる。ほとんどが、「幼少の頃からずっと」その呼び名を使っている。

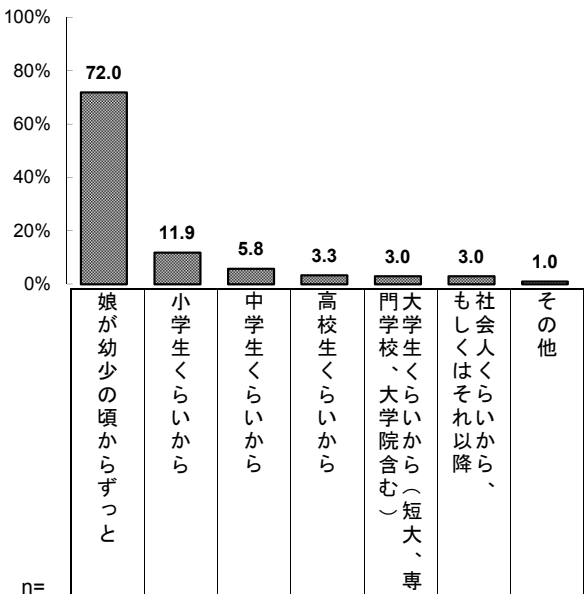
- ・娘からの呼ばれ方については、若い年代よりも60歳代や70歳代で、「お母さん、母さん」と呼ばれており、特に60歳代では7割を超えます。
- ・一方、40歳代の約半数が、娘から「ママ」と呼ばれています。

●娘からの呼ばれ方



全体		n=	お母さん、母さん	お母様	ママ	どー（あなたの名前、〇〇子さんなど）	愛称、ニックネーム	など（孫の呼び方と同じ）	その他
全体		(1,203)	55.7	0.8	31.0	2.8	5.2	1.2	3.3
（10年代別み）	女性_40-49歳	(382)	40.3	0.0	49.0	1.8	6.3	0.0	2.6
	女性_50-59歳	(382)	54.7	0.5	29.6	3.4	5.8	1.3	4.7
	女性_60-69歳	(379)	70.7	1.9	15.6	3.2	4.2	1.8	2.6
	女性_70-74歳	(60)	65.0	0.0	23.4	3.3	1.7	3.3	3.3

●娘がその呼び方を始めた時期



全体		n=	娘が幼少の頃からずっと	小学生くらいから	中学生くらいから	高校生くらいから	門大学生くらいから（短大、専門、大学、大学院含む）	もしくはそれ以降（社会人くらいから）	その他
全体		(1,203)	72.0	11.9	5.8	3.3	3.0	3.0	1.0
（10年代別み）	女性_40-49歳	(382)	79.5	10.2	5.0	3.4	1.6	0.3	0.0
	女性_50-59歳	(382)	72.0	9.7	7.1	3.6	3.4	2.9	1.3
	女性_60-69歳	(379)	67.0	14.8	5.0	2.6	4.2	5.3	1.1
	女性_70-74歳	(60)	55.0	18.3	8.3	5.0	1.7	6.7	5.0

…全体を10%以上上回る …全体を5%以上上回る

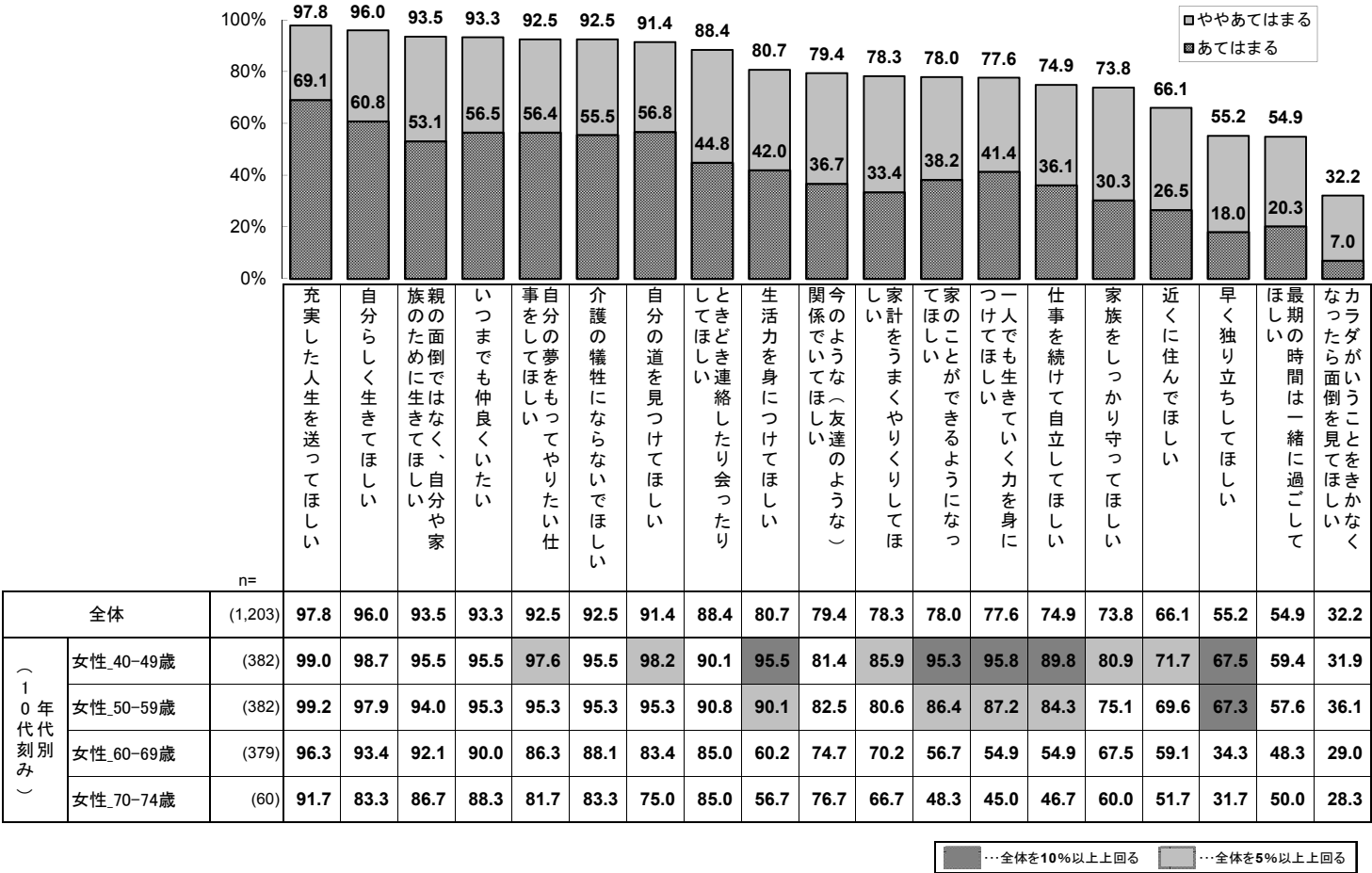
※本項の設問： 〇〇さんは、あなたのことを普段どう呼んでいますか？下記の中から最も多く呼んでいるものを、一つだけ選んでください。（単一回答）

※本項の設問： 〇〇さんがあなたを、そのように呼び始めたのはいつ頃からでしょうか？（単一回答）

(4) 今後、娘に望むこと

■年代が若いほど、娘に望むことが多い。充実し、自分らしく生きてほしいと感じている割合が高くなっている。

- ・全般的に、若い年代ほど割合が高くなっており、その中でも「生活力を身につけてほしい」や「家のことができるようになってほしい」「一人でも生きていく力を身につけてほしい」などといった、自立を求める割合が高くなっています。
- ・また「介護の犠牲にならないでほしい」においても、年代が若いほど割合が高くなる傾向がみられる一方で、「最期の時間は一緒に過ごしてほしい」という意識も高い傾向がみられます。

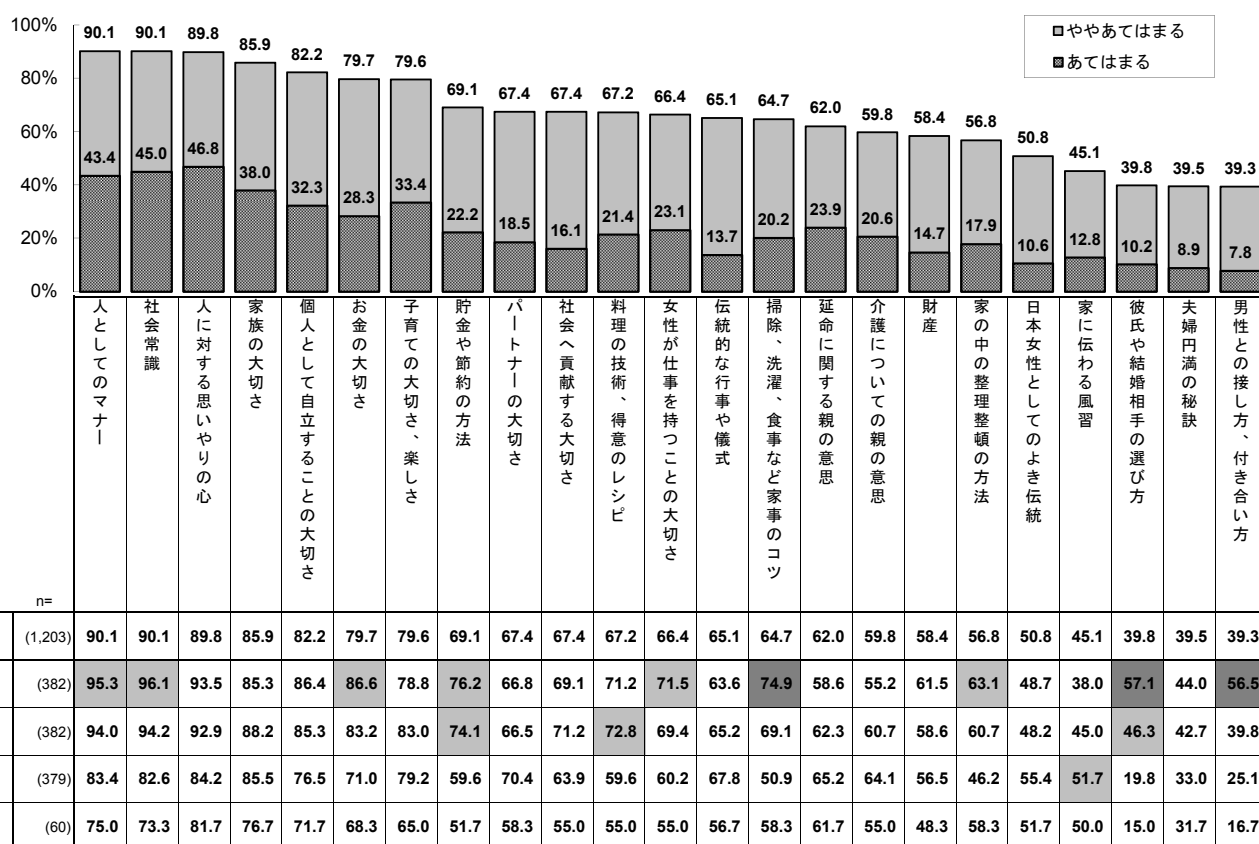


※本項の設問： 今後、〇〇さんこうしてほしいと思うことはありますか？以下の項目について、あてはまる程度を選んでください。（単一回答）
選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」から、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(5) 今後、娘に伝えて(残して)いきたいもの

■「人に対する思いやりの心」や「社会常識」といった内容について、伝えたいと思う割合が全体として高い。

- ・年代が若いほど伝えていきたいと思う項目が多い傾向がみられています。
- ・特に、「個人として自立すること」「女性が仕事を持つこと」の大切さといった自立の大切さ、「お金の大切さ」や「貯金や節約の方法」「財産」といった金銭面のやりくり、「料理の技術」や「家事のコツ」「整理整頓の方法」などの家事の方法、「彼氏や結婚相手の選び方」「男性との付き合い方」などの異性との接し方といった大きく4点において、若い年代ほど伝えたいと感じている割合が高いようです。



…全体を10%以上上回る …全体を5%以上上回る

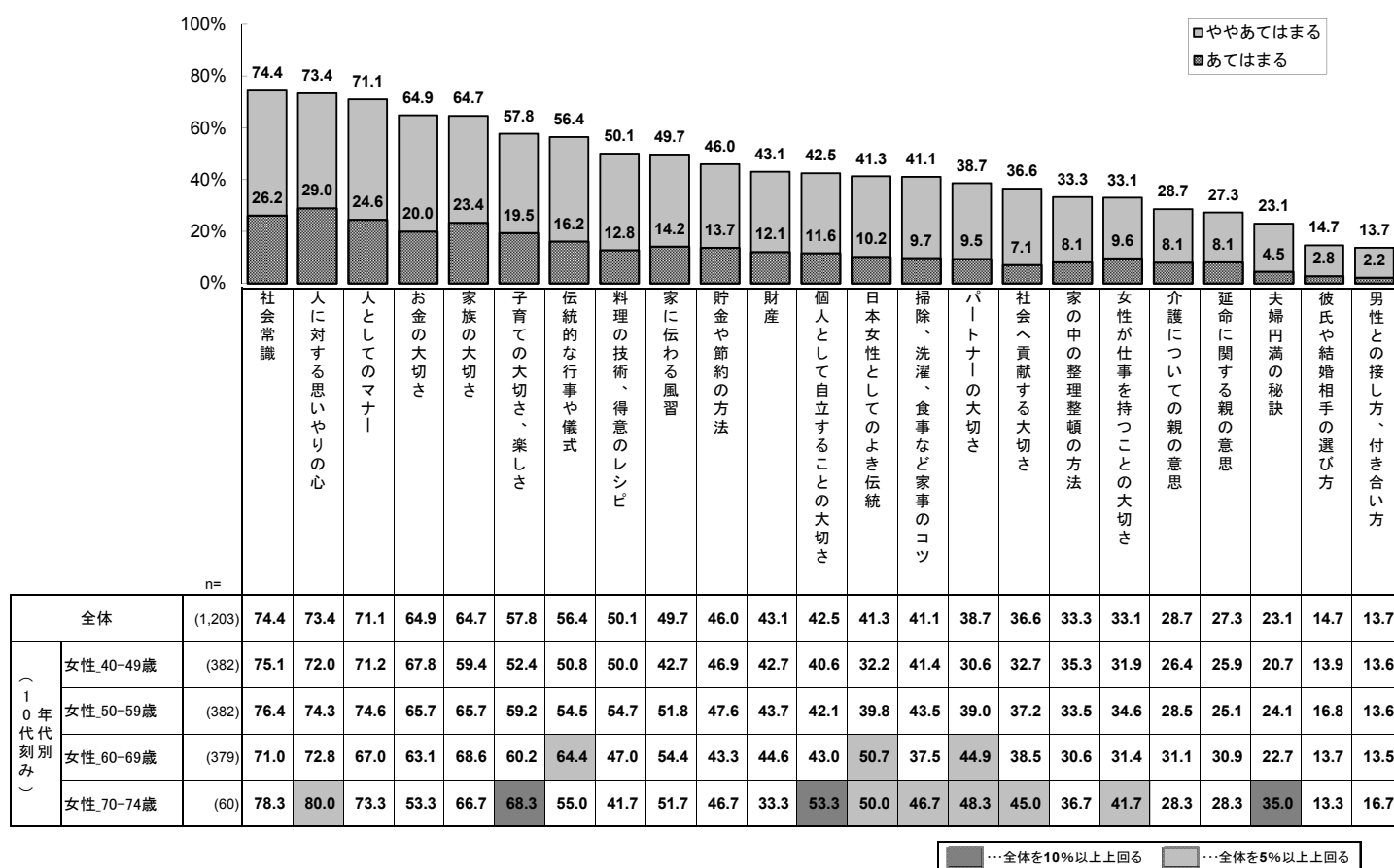
※本項の設問： 今後、あなたが〇〇さんに伝えて(残して)いきたいものについて、以下の項目はあなたの考え方にどの程度あてはまりますか？あてはまる程度を選んでください。(単一回答)

選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」から、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(6) 自身の母親から伝えられた(残された)もの

■年代を問わず「社会常識」や「人に対する思いやりの心」といった内容を伝えられたと感じている割合が高い。

- ・年代が高いほど、母親から伝えられたと感じている項目が多くなっています。
- ・また、「日本女性としてのよき伝統」や「パートナーの大切さ」「夫婦円満の秘訣」といった夫婦の大切さについても、年代が高いほど、母親から伝えられたと感じている割合が高くなっています。
- ・個人として自立することや社会への貢献、女性が仕事を持つことといった自立の大切さについて、70歳代で高くなっています。



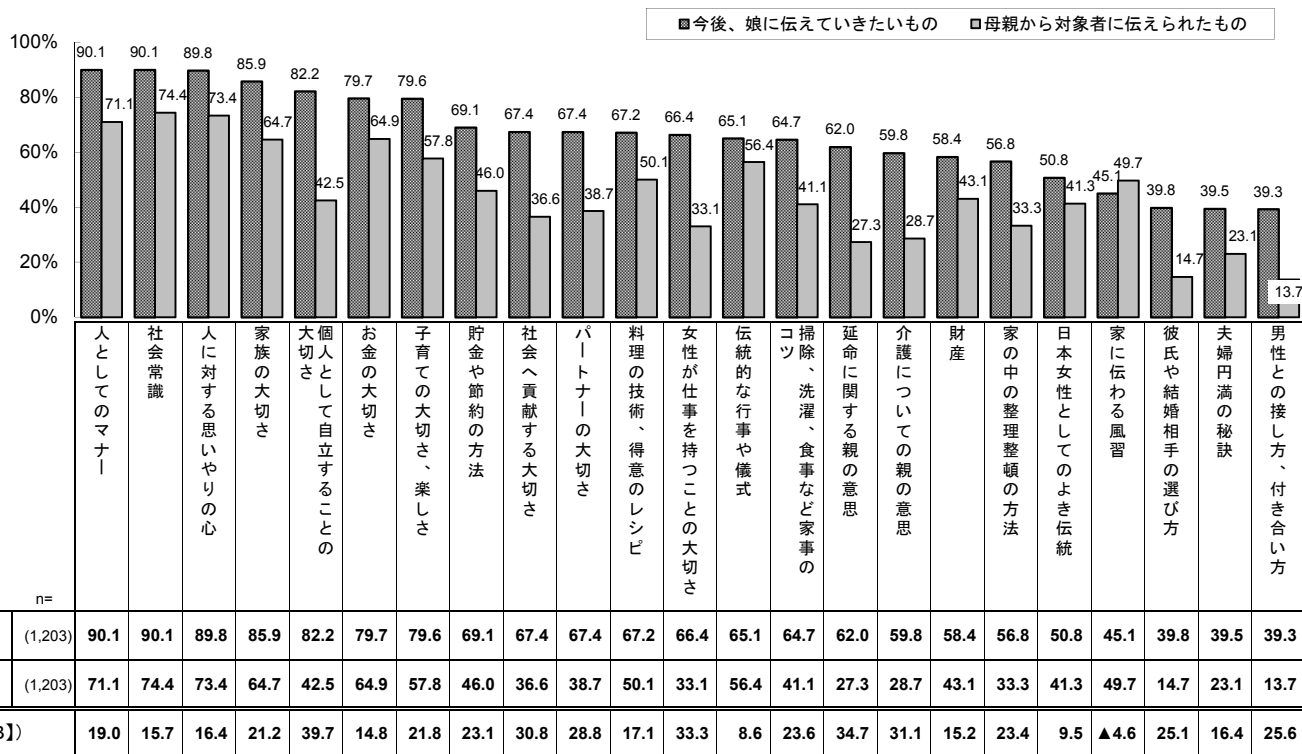
※本項の設問：今まで、あなたのご自身の母親から伝えられた(残された)ものについて、以下の項目はどの程度あてはまりますか？あてはまる程度を選んでください。(単一回答)

選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」から、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(7)「今後、娘に伝えていきたいもの」と「母親から伝えられたもの」の差異

■個人として自立することや社会への貢献、女性が仕事を持つことの大切さといった自立の大切さについて、自身が母親から伝えられた以上に、娘に伝えていきたい意識が強い。

- ・また、「延命に関する親の意思」や「介護についての親の意思」といった、自身の老後に関する意思についても、自身が母親から伝えられた以上に、娘に伝えていきたいと考える割合が高い傾向にあります。
- ・さらに、「パートナーの大切さ」「男性との付き合い方」「結婚相手の選び方」といった異性との接し方についても、娘に伝えていきたいと考える割合が高くなっています。
- ・一方、「日本女性としてのよき伝統」や「伝統的な行事や儀式」「家に伝わる風習」などの伝統については、自身が母親から伝えられた割合と、娘に伝えていきたいと考える割合はあまり変わらないようです。



※本項の設問： 今後、あなたが〇〇さんに伝えて(残して)いきたいものについて、以下の項目はあなたの考え方にどの程度あてはまりますか？あてはまる程度を選んでください。(単一回答)

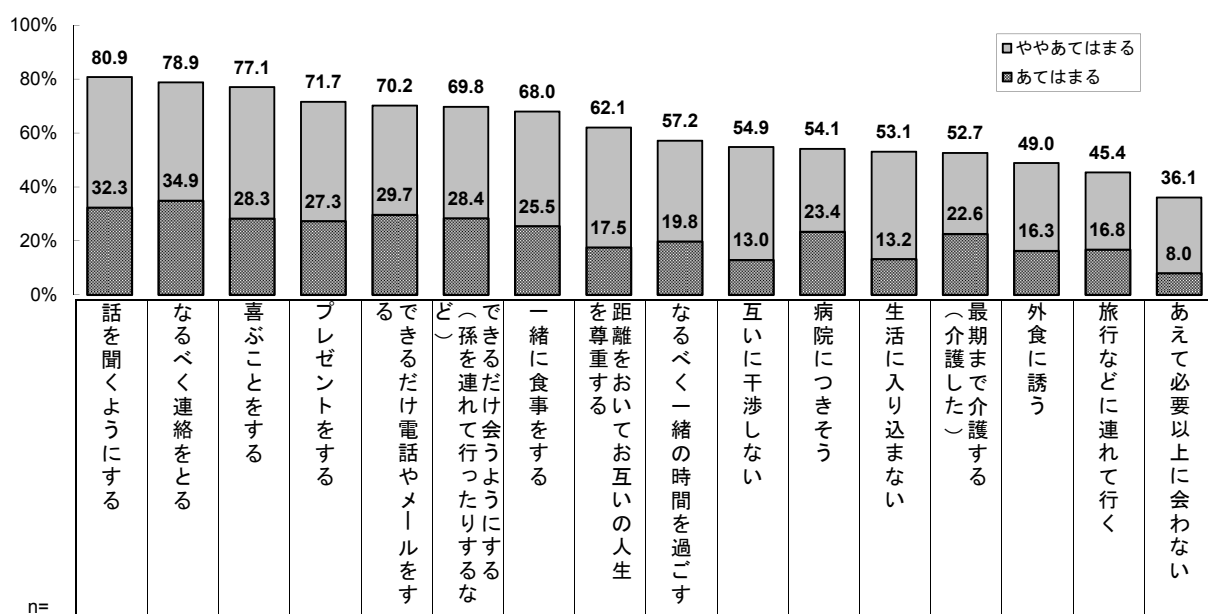
※本項の設問： 今まで、あなたがご自身の母親から伝えられた(残された)ものについて、以下の項目はどの程度あてはまりますか？あてはまる程度を選んでください。(単一回答)

選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」から、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、「今後、娘に伝えていきたいもの」のポイントの高い順にグラフに表記し

(8) 自身の母親の老後に対して行ったことや心がけたこと

■ 「話を聞くようにする」や「なるべく連絡をとる」など、 日常のコミュニケーションを心がけている割合が高い。

- ・ 各項目ともに、年代で大きな違いはみられませんが、「なるべく一緒の時間を過ごす」や「病院につきそう」「旅行などに連れて行く」などは、60歳代で高くなっています。



全体		(1,203)	80.9	78.9	77.1	71.7	70.2	69.8	68.0	62.1	57.2	54.9	54.1	53.1	52.7	49.0	45.4	36.1
(10年代別)	女性_40-49歳	(382)	79.3	73.6	71.5	65.7	68.8	68.1	66.8	60.7	52.9	57.6	44.8	56.0	51.6	50.5	39.8	40.1
	女性_50-59歳	(382)	82.7	81.7	81.7	76.4	73.6	68.6	68.8	63.6	56.3	54.2	55.8	52.6	54.2	51.3	45.0	37.4
	女性_60-69歳	(379)	80.7	80.7	79.2	73.6	68.6	73.4	68.9	62.5	64.1	52.2	62.5	50.7	53.6	47.2	51.2	29.8
	女性_70-74歳	(60)	80.0	83.3	71.7	66.7	68.3	66.7	65.0	58.3	46.7	58.3	50.0	53.3	45.0	35.0	46.7	41.7

…全体を10%以上上回る …全体を5%以上上回る

※本項の設問：あなたが母親の老後に対して、行なった(行なっている)ことや心がけた(心がけている)ことはありますか？以下の項目について、あてはまる程度を選んでください。(単一回答)

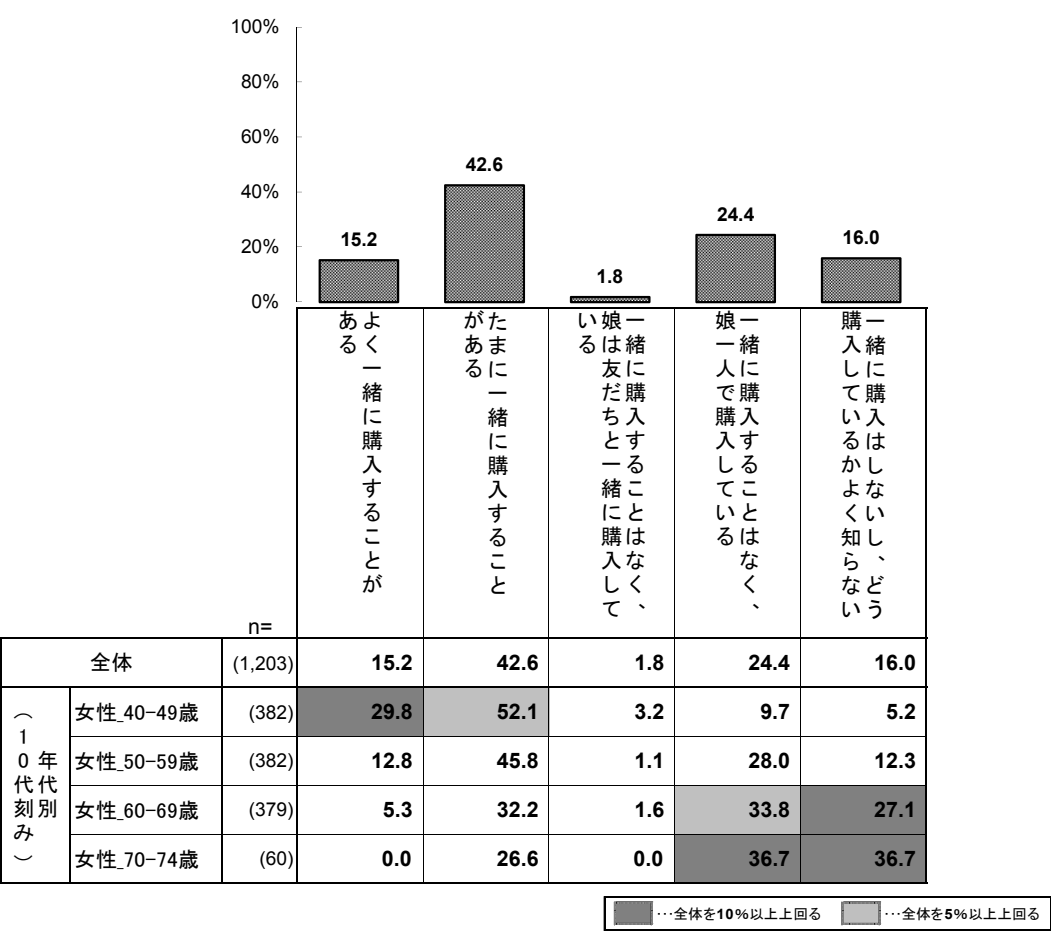
選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」から、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

6. <下着における>母と娘との関係性

(1)現在の、娘との下着購入経験の有無

■回答者の6割近くが、娘と下着を購入すると回答。

- ・年代が若いほど、娘と一緒に下着を購入している割合が高くなっています。
- ・40歳代では8割以上が一緒に下着を購入していますが、50歳代では割合が6割弱まで減少し、60歳代では4割弱まで減少します。

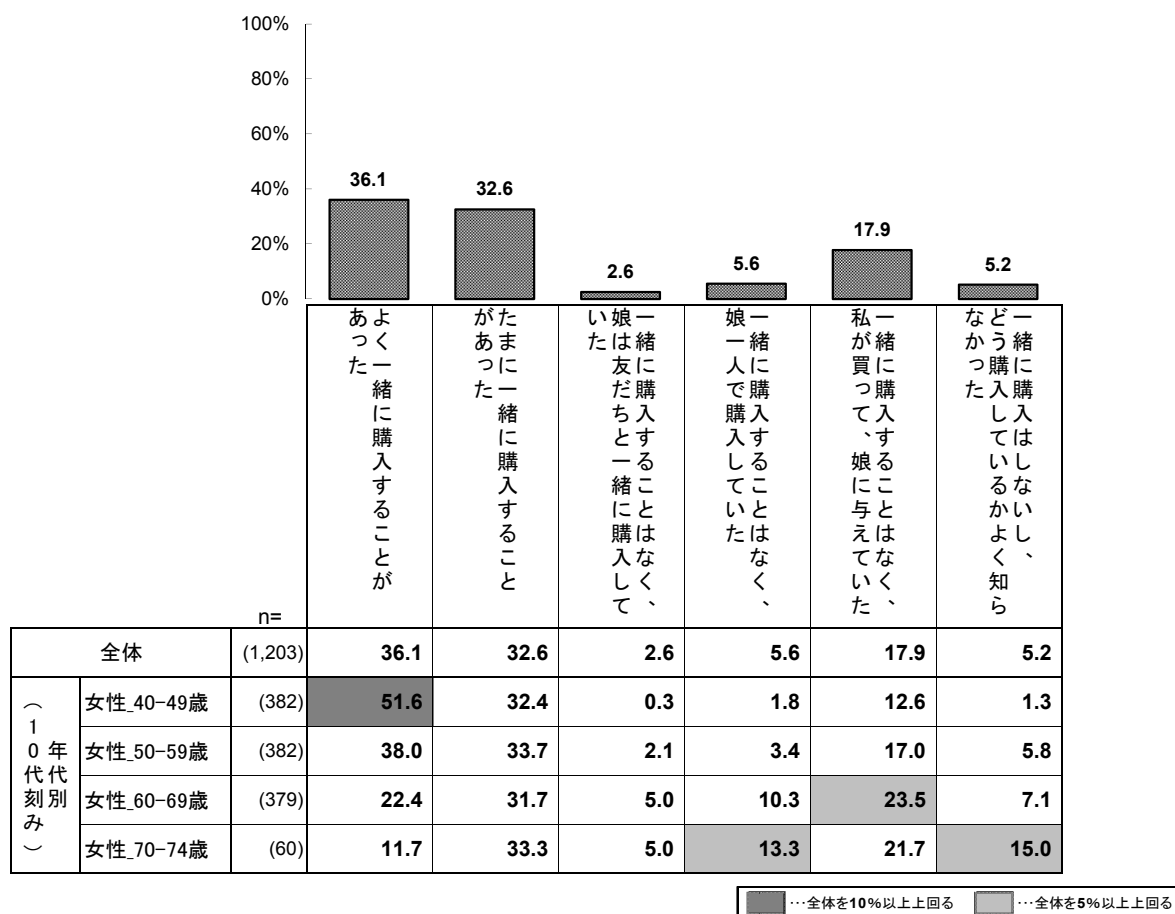


※本項の設問： あなたは最近、〇〇さんと一緒に下着を購入することがありますか。下記の選択肢から1つ選んでください。(単一回答)

(2) 娘の幼少期から思春期にかけての、娘との下着購入経験の有無

■7割近くが、娘が幼少の頃や思春期の頃に下着を一緒に購入していたと回答。特に年代が若いほど、よく一緒に下着を購入していた割合が高い。

- ・40歳代や50歳代では7割以上が娘と一緒に下着を購入することがあったと回答しており、60歳代や70歳代に比べて、割合が高くなっています。



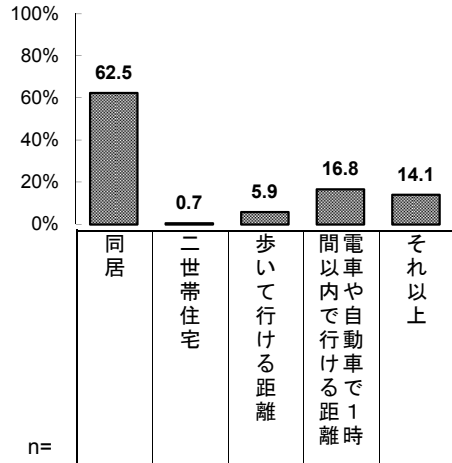
※本項の設問： ○○さんの幼少期から思春期にかけて、○○さん用の下着の購入について、最も当てはまるものを、下記の選択肢の中から1つ選んでください。(単一回答)

(3) 思春期に下着の共同購入をよく行っていた母娘のプロフィール

● 居住形態、会う頻度、娘からの呼ばれ方

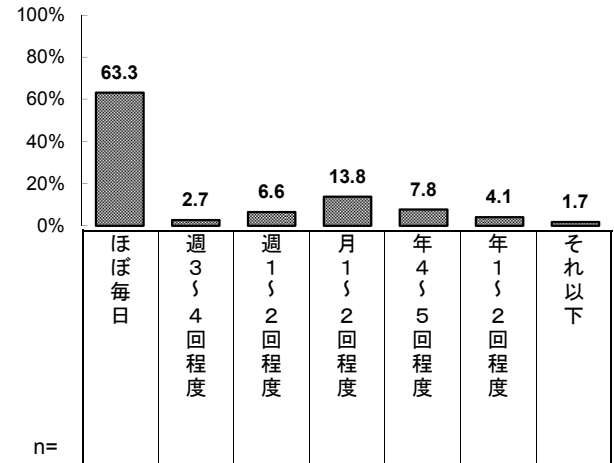
- ・ 対象者の住まいとの距離については、娘と下着を「よく一緒に購入」していた人ほど同居している割合が高くなっています。一方、「一緒に購入せず、娘一人で購入」や「一緒に購入せず、購入状況も知らない」人ほど住まいの距離は遠い傾向がみられます。
- ・ 対象者と会う頻度については、娘と下着を「よく一緒に購入」していた人ほど、ほぼ毎日会っていると回答する割合が高く、8割弱みられています。しかし、「一緒に購入せず、娘一人で購入」や「一緒に購入せず、購入状況も知らない」人では、会う回数が少なく、特に「一緒に購入せず、購入状況も知らない」人は、4分の1以上の方が月1～2回程度と回答しています。
- ・ 娘からの呼ばれ方については、娘と下着を「よく一緒に購入」していた人ほどママと呼ばれている人が多く、4割以上みられます。一方、「一緒に購入せず、娘一人で購入」や「一緒に購入せず、娘は友だちと一緒に購入」、「一緒に購入せず、購入状況も知らない」人では、お母さんと呼ばれている人の割合が多い傾向がみられます。

●居住形態



全体		(1,203)	62.5	0.7	5.9	16.8	14.1
下着の共同購入状況別	よく一緒に購入	(434)	78.1	0.5	4.4	10.3	6.7
	たまに一緒に購入	(393)	61.8	0.5	5.1	17.8	14.8
	一緒に購入せず、娘は友だちと一緒に購入	(31)	25.8	0.0	19.4	25.8	29.0
	一緒に購入せず、娘一人で購入	(67)	35.8	0.0	11.9	23.9	28.4
	一緒に購入せず、私が買って娘に与えていた	(215)	56.3	1.4	6.5	19.5	16.3
	一緒に購入せず、購入状況も知らない	(63)	27.0	1.6	6.4	33.3	31.7

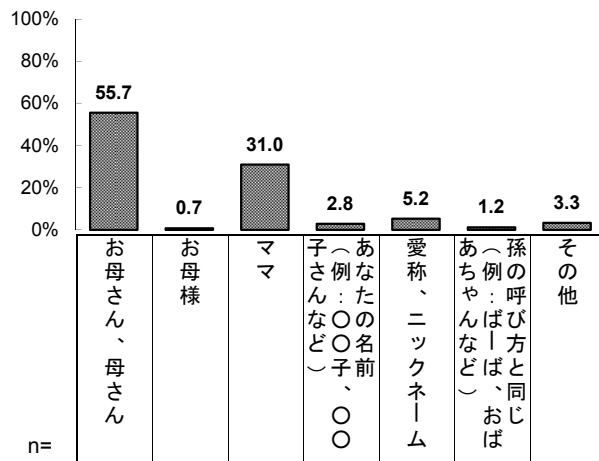
●会う頻度



全体		(1,203)	63.3	2.7	6.6	13.8	7.8	4.1	1.7
下着の共同購入状況別	よく一緒に購入	(434)	79.3	1.4	4.8	9.0	3.7	1.4	0.5
	たまに一緒に購入	(393)	62.6	2.8	5.9	15.5	7.4	4.3	1.5
	一緒に購入せず、娘は友だちと一緒に購入	(31)	32.2	6.5	12.9	22.6	16.1	6.5	3.2
	一緒に購入せず、娘一人で購入	(67)	34.3	7.5	11.9	23.9	16.4	4.5	1.5
	一緒に購入せず、私が買って娘に与えていた	(215)	57.2	2.8	7.9	12.1	10.2	5.6	4.2
	一緒に購入せず、購入状況も知らない	(63)	23.8	3.2	9.5	27.0	17.4	15.9	3.2

※本項の設問： ○○さんのお住まいとの距離はどれくらいですか？（単一回答） / ○○さんとはどれくらいの頻度で会いますか？（単一回答）

●娘からの呼ばれ方



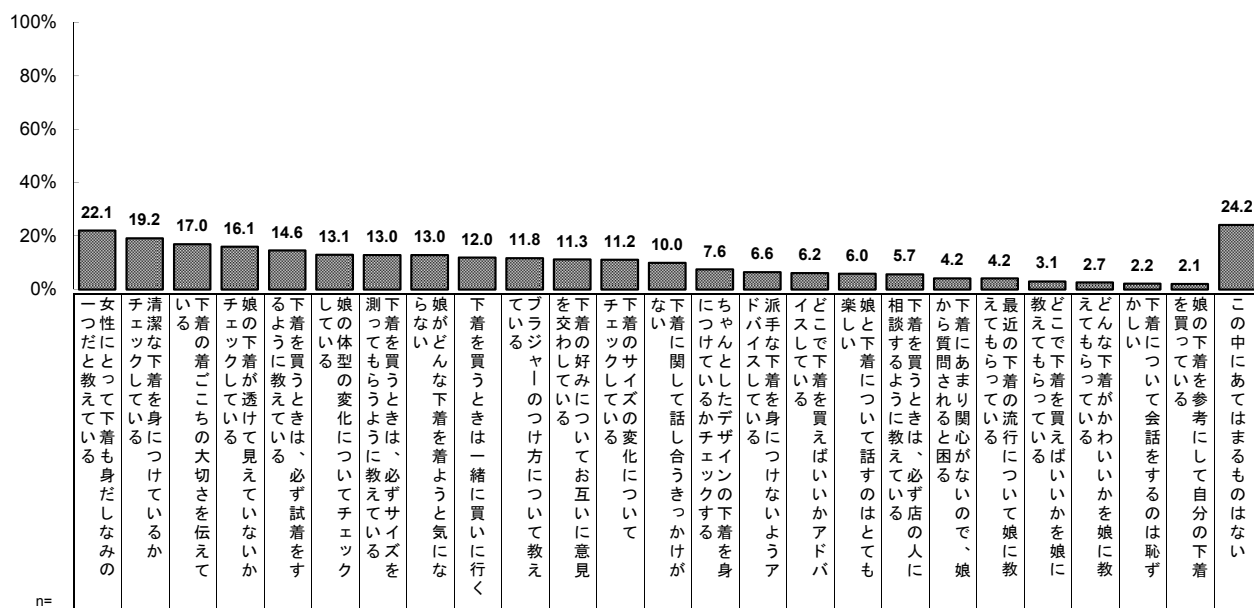
全体		(1,203)	55.7	0.7	31.0	2.8	5.2	1.2	3.3
下着の共同購入状況別	よく一緒に購入	(434)	46.3	0.5	40.1	3.0	5.1	1.4	3.7
	たまに一緒に購入	(393)	58.8	0.3	29.8	2.0	6.6	0.5	2.0
	一緒に購入せず、娘は友だちと一緒に購入	(31)	74.2	0.0	12.9	0.0	3.2	3.2	6.5
	一緒に購入せず、娘一人で購入	(67)	74.6	1.5	9.0	6.0	4.4	3.0	1.5
	一緒に購入せず、私が買って娘に与えていた	(215)	56.2	1.9	27.0	4.2	5.1	0.9	4.7
	一緒に購入せず、購入状況も知らない	(63)	69.8	1.6	22.2	0.0	0.0	1.6	4.8

※本項の設問： ○○さんは、あなたのことを普段どう呼んでいますか？下記の中から最も多く呼んでいるものを、一つだけ選んでください。（単一回答）

(4) 娘との下着に関する会話やコミュニケーション(年代別)

■年代が若いほど、下着について何らかの会話やコミュニケーションを行っている割合が高く、母親が「チェックしている」「教えている」といった指導的な役割を果たしている。

- ・40歳代では「清潔な下着を身につけているかチェックしている」や「娘の下着が透けて見えていないかチェックしている」など、娘が下着を着用する様子について細かく気を配っている割合が高くなっています。
- ・一方、年代が高くなるほど各項目ともに割合が低くなり、娘と下着について会話やコミュニケーションを行う割合は少なくなっています。



全体		(1,203)	22.1	19.2	17.0	16.1	14.6	13.1	13.0	13.0	12.0	11.8	11.3	11.2	10.0	7.6	6.6	6.2	6.0	5.7	4.2	4.2	3.1	2.7	2.2	2.1	24.2
(10年代別)	女性 40-49歳	(382)	28.0	33.2	21.7	29.8	20.9	24.9	20.2	7.3	24.1	21.5	14.4	20.9	6.8	12.0	9.9	11.5	7.3	7.6	3.7	2.6	2.4	3.9	2.1	1.3	7.1
	女性 50-59歳	(382)	22.3	17.3	16.5	16.0	16.2	9.4	11.5	12.8	8.1	10.2	11.0	7.6	9.7	7.3	7.3	5.5	5.2	4.7	5.2	3.7	2.1	2.6	2.9	1.0	23.3
	女性 60-69歳	(379)	16.6	8.2	13.2	4.5	8.4	5.3	7.9	18.5	5.5	5.0	9.5	5.5	13.5	3.7	2.4	1.8	5.3	5.3	3.7	5.8	3.7	1.3	1.6	3.7	39.1
	女性 70-74歳	(60)	18.3	11.7	15.0	3.3	3.3	10.0	8.3	15.0	0.0	3.3	5.0	8.3	10.0	5.0	6.7	3.3	6.7	3.3	5.0	6.7	10.0	3.3	1.7	3.3	45.0

…全体を10%以上上回る …全体を5%以上上回る

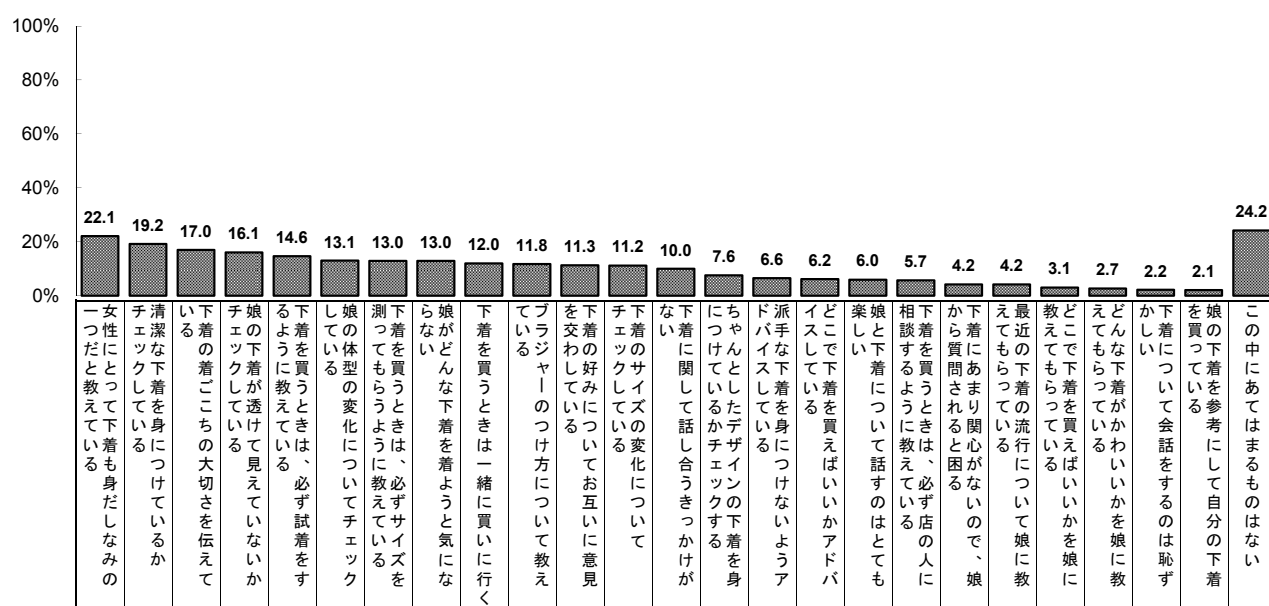
※本項の設問： 現在、あなたが〇〇さんという、下着に関する会話やコミュニケーションについて、あてはまるものを下記の中からいくつでもお選びください。(複数回答)

回答のあったパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(5)娘との下着に関する会話やコミュニケーション (思春期の下着の共同購入状況別)

■思春期に下着の共同購入をよく行っていた母娘は、現在も下着に関して、いろいろなコミュニケーションを行っている。

- ・娘の思春期に下着を「よく一緒に購入」していた人ほど、「女性にとって下着も身だしなみの一つだと教えている」や「清潔な下着を身につけているかチェックしている」といった項目における割合が高い傾向にあり、現在も下着に関するコミュニケーションを通して、娘に教えたり、チェックしたりしています。
- ・「一緒に購入せず、購入状況も知らない」や「一緒に購入せず、娘一人で購入」していた人ほど、現在も娘との下着に関する会話やコミュニケーションは行っていないようです。



全体		(1,203)	22.1	19.2	17.0	16.1	14.6	13.1	13.0	13.0	12.0	11.8	11.3	11.2	10.0	7.6	6.6	6.2	6.0	5.7	4.2	4.2	3.1	2.7	2.2	2.1	24.2
下着の共同購入状況別	よく一緒に購入	(434)	30.6	28.1	24.4	24.9	23.5	18.9	20.3	9.7	24.0	18.0	16.4	18.2	5.5	11.5	10.1	8.1	9.2	10.4	3.2	5.5	4.1	4.1	0.7	2.8	10.8
	たまに一緒に購入	(393)	21.1	18.3	17.6	16.3	13.5	12.5	11.2	12.2	7.4	10.4	10.9	8.4	9.2	6.6	6.9	5.6	6.1	4.1	4.1	4.6	3.3	3.1	1.8	2.0	21.4
	一緒に購入せず、娘は友だちと一緒に購入	(31)	22.6	9.7	9.7	6.5	3.2	0.0	6.5	19.4	6.5	3.2	6.5	3.2	12.9	0.0	3.2	9.7	0.0	3.2	3.2	3.2	3.2	0.0	3.2	0.0	35.5
	一緒に購入せず、娘一人で購入	(67)	10.4	3.0	9.0	1.5	1.5	3.0	1.5	19.4	1.5	1.5	4.5	1.5	17.9	1.5	0.0	4.5	4.5	0.0	6.0	1.5	0.0	0.0	1.5	3.0	50.7
	一緒に購入せず、私が買って娘に与えていた	(215)	15.8	14.0	9.3	8.8	8.4	9.8	8.4	17.2	3.7	9.3	7.9	9.3	14.9	5.6	3.3	4.7	2.3	2.8	6.0	2.3	2.3	0.9	5.6	0.9	34.4
	一緒に購入せず、購入状況も知らない	(63)	3.2	3.2	1.6	0.0	1.6	4.8	4.8	15.9	0.0	1.6	0.0	1.6	19.0	3.2	0.0	1.6	0.0	1.6	4.8	1.6	0.0	0.0	3.2	1.6	65.1

…全体を10%以上上回る …全体を5%以上上回る

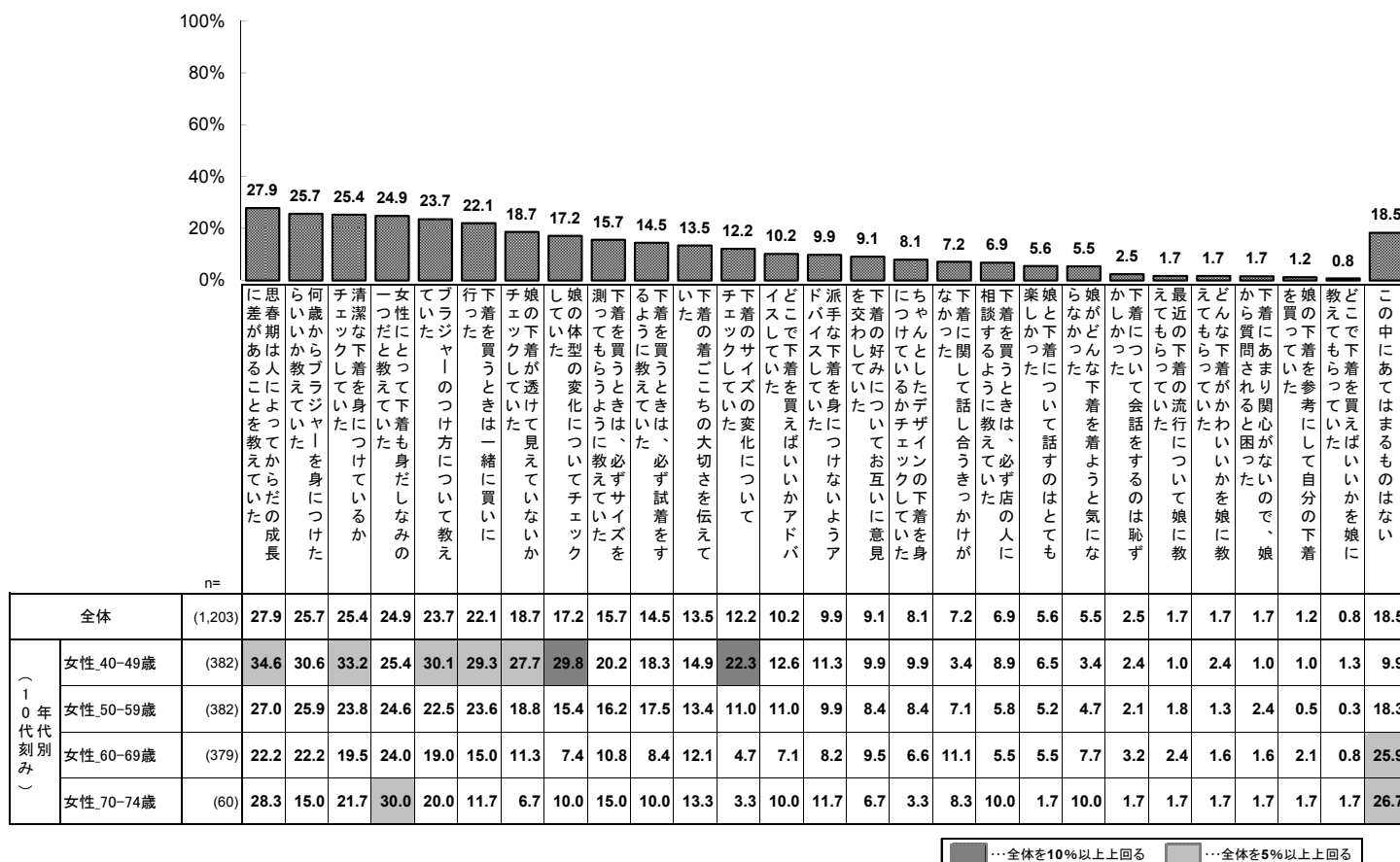
※本項の設問： 現在、あなたが〇〇さんという、下着に関する会話やコミュニケーションについて、あてはまるものを下記の中からいくつでもお選びください。(複数回答)

回答のあったパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(6) 娘が思春期だった頃に行っていた、下着に関する会話やコミュニケーション(年代別)

■若い年代ほど、娘が思春期の頃に下着について何らかの会話やコミュニケーションを行っている割合が高い。

- ・他の年代と比べて、40歳代では「娘の体型の変化についてチェックしていた」や「下着のサイズの変化についてチェックしていた」などで割合が高く、現在の娘との下着に関する会話やコミュニケーションと同じく、娘の下着着用について細かく気にしている割合が高くなっています。
- ・年代が高くなるほど、娘が思春期だった頃に行っていた下着に関する会話やコミュニケーションは希薄になる傾向がみられます。これは、母親の年代が若くなる、つまり最近になるほど、娘との間で、下着といったより細やかな部分においても、コミュニケーションが図られるようになっていることが考えられます。



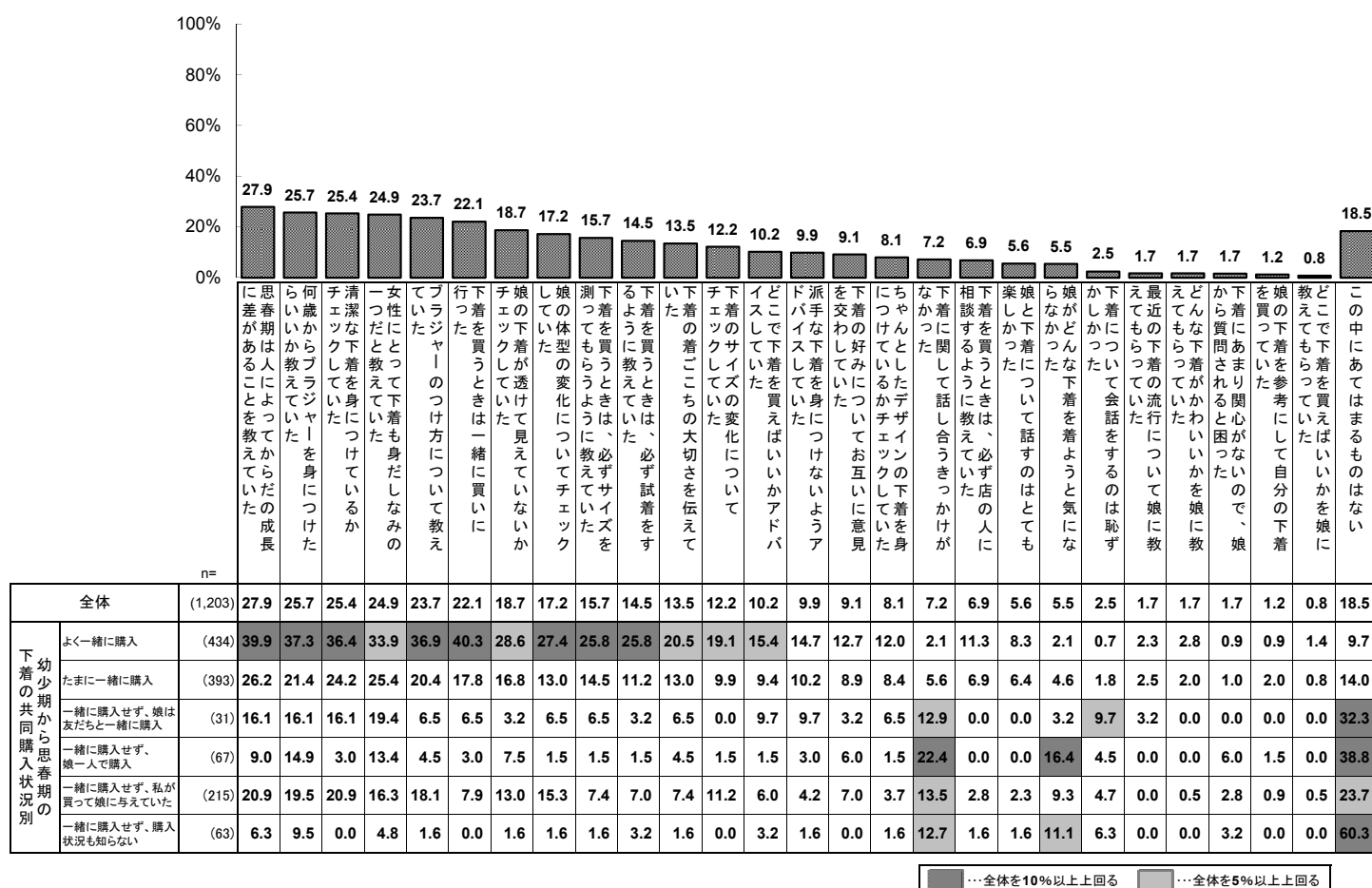
※本項の設問： ○○さんの思春期に、あなたが行っていった下着に関する会話やコミュニケーションについて、あてはまるものを下記の中からいくつでもお選びください。(複数回答)

回答のあったパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(7) 娘が思春期だった頃に行っていた、下着に関する会話やコミュニケーション(思春期の下着の共同購入状況別)

■ 思春期に下着の共同購入をよく行っていた母娘は、下着に関するコミュニケーションを通じて、身だしなみや知識を教えていた。

- ・ 娘と下着を「よく一緒に購入」していた人ほど、「思春期は人によってからだの成長に差があることを教えていた」や「清潔な下着を身につけているかチェックしていた」など、娘が下着を着用することについて教えたり、チェックを行ったりして、下着に関するコミュニケーションをとっていた割合が高くなっています。
- ・ また、娘と下着を「よく一緒に購入」していた人は、ブラジャーのつけ方や下着の購入の仕方についても、教えていたという項目の割合が高くなっています。



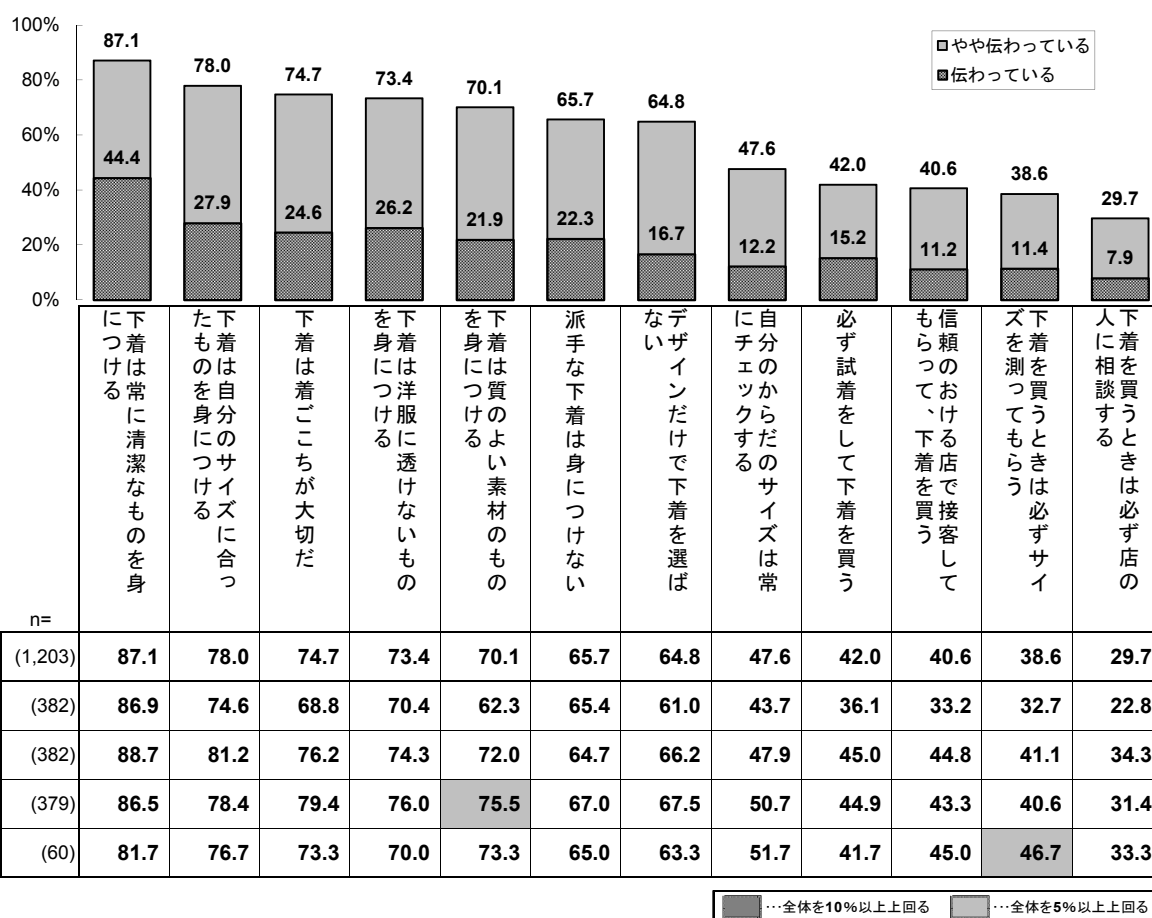
※本項の設問： ○○さんの思春期に、あなたが行っていた下着に関する会話やコミュニケーションについて、あてはまるものを下記の中からいくつでもお選びください。(複数回答)

回答のあったパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表した。

(8) 母から娘に伝えている、下着に関する行動や考え方(年代別)

■「下着は常に清潔なものを身につける」が9割弱で最も高く、次いで「下着は自分のサイズに合ったものを身につける」が8割弱と続く。

- ・「必ず試着をして下着を買う」や「信頼のおける店で接客してもらって、下着を買う」「下着を買うときは必ずサイズを測ってもらう」「下着を買うときは必ず店の人に相談する」における割合は3割と低いことから、フィッティングに関する意識は必ずしも高くはないようです。
- ・今までの傾向と異なり、40歳代が最も低い割合の項目も多く、必ずしも若い年代が下着に対する考え方を娘に伝えている割合が高いとは限らないようです。



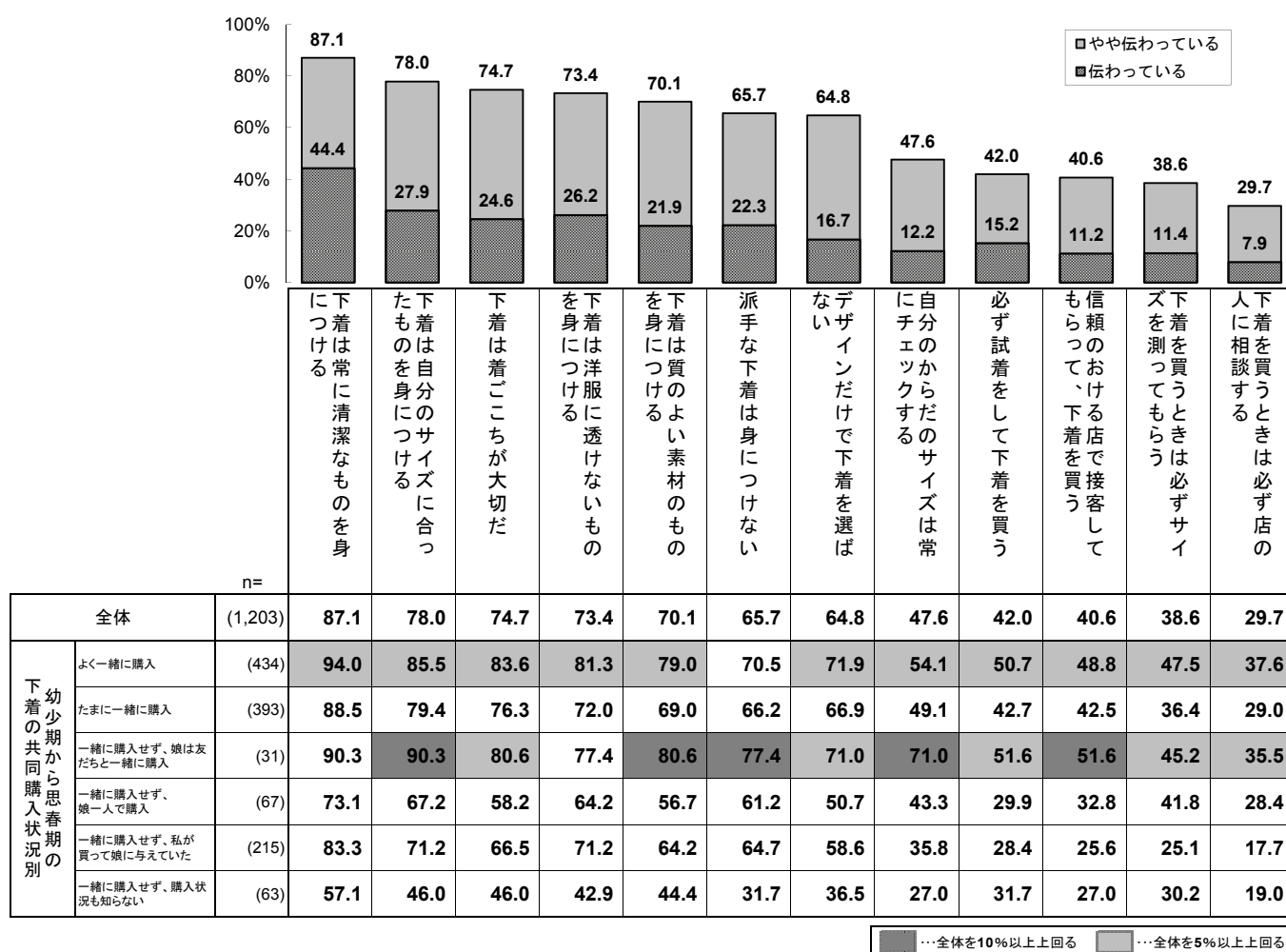
※本項の設問：下着に対する行動や考え方について、以下の項目はあなたから〇〇さんどの程度伝わっていますか？あてはまる程度を選んでください。(単一回答)

選択肢「全く伝わっていない」「あまり伝わっていない」「やや伝わっている」「伝わっている」から、「伝わっている」「やや伝わっている」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(9) 母から娘に伝えている、下着に関する行動や考え方 (思春期の下着の共同購入状況別)

■ 思春期に下着の共同購入をよく行っていた母娘は、下着に関する考え方を幅広く伝えている。

- ・ 娘と下着を「よく一緒に購入」していた人ほど、「派手な下着は身につけない」以外の全ての項目で、下着に対する考え方を娘に伝えている割合が高くなっています。
- ・ 娘は「友だちと一緒に購入していた」人も割合が高い項目が多く、「自分のからだのサイズは常にチェックする」「派手な下着は身につけない」では「よく一緒に購入」していた人よりも5%以上高い割合です。



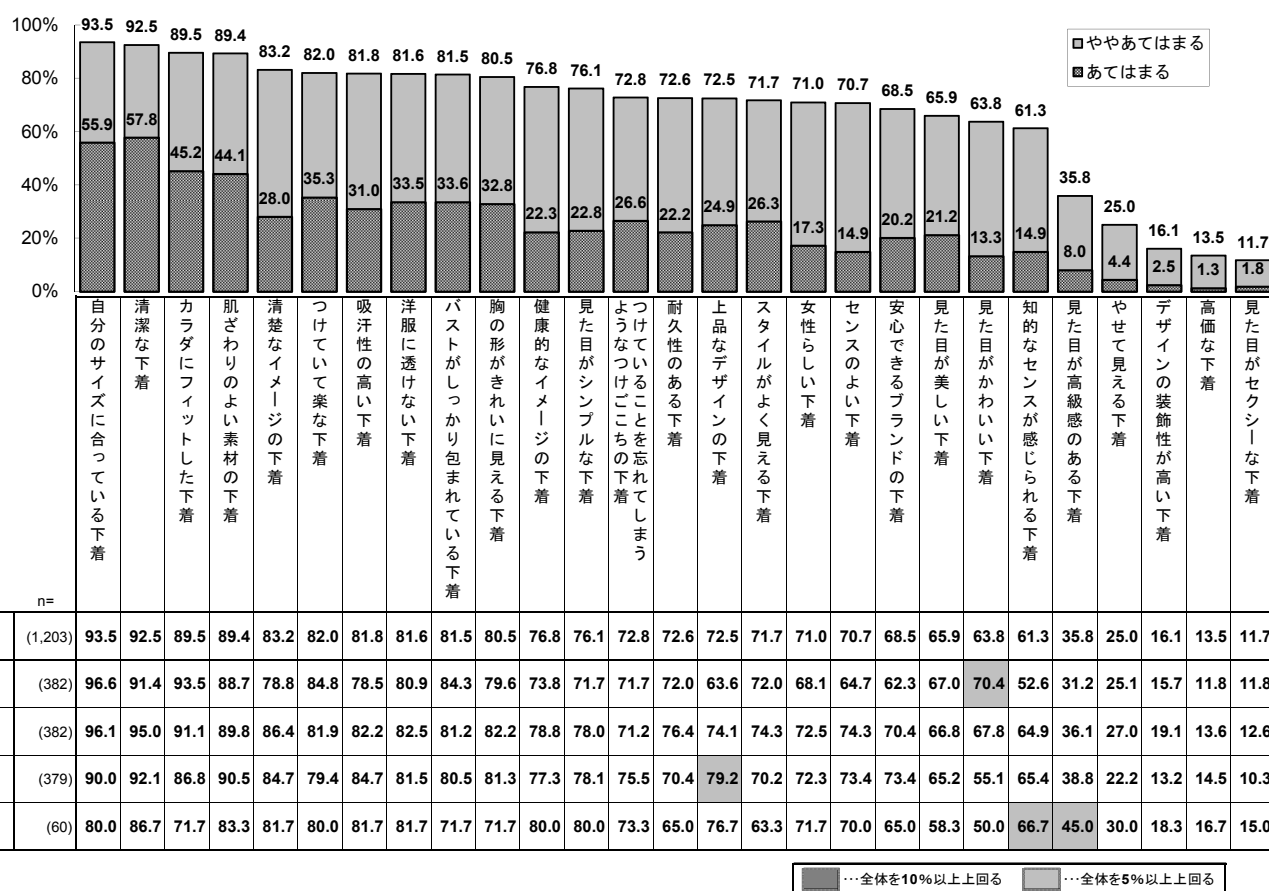
※本項の設問：下着に対する行動や考え方について、以下の項目はあなたから〇〇さんにどの程度伝わっていますか？あてはまる程度を選んでください。(単一回答)

選択肢「全く伝わっていない」「あまり伝わっていない」「やや伝わっている」「伝わっている」から、「伝わっている」「やや伝わっている」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(10) 現在、娘に勧めたい、着用してほしい下着

■自分に合っているものや清潔なものを着用してほしいと回答する割合が高く、やせて見えるものや高価なもの、セクシーなものは勧められない。

- ・「自分のサイズに合っている」「清潔」「肌ざわり」「洋服に透けない」といった要素では、各年代における顕著な違いはみられず、いずれの年代も娘のカラダやマナーについて気遣っています。
- ・また、年代が若くなるほど「バストがしっかり包まれている」や「見た目がかわいい」といった下着を勧めたいと思う割合が高くなっています。



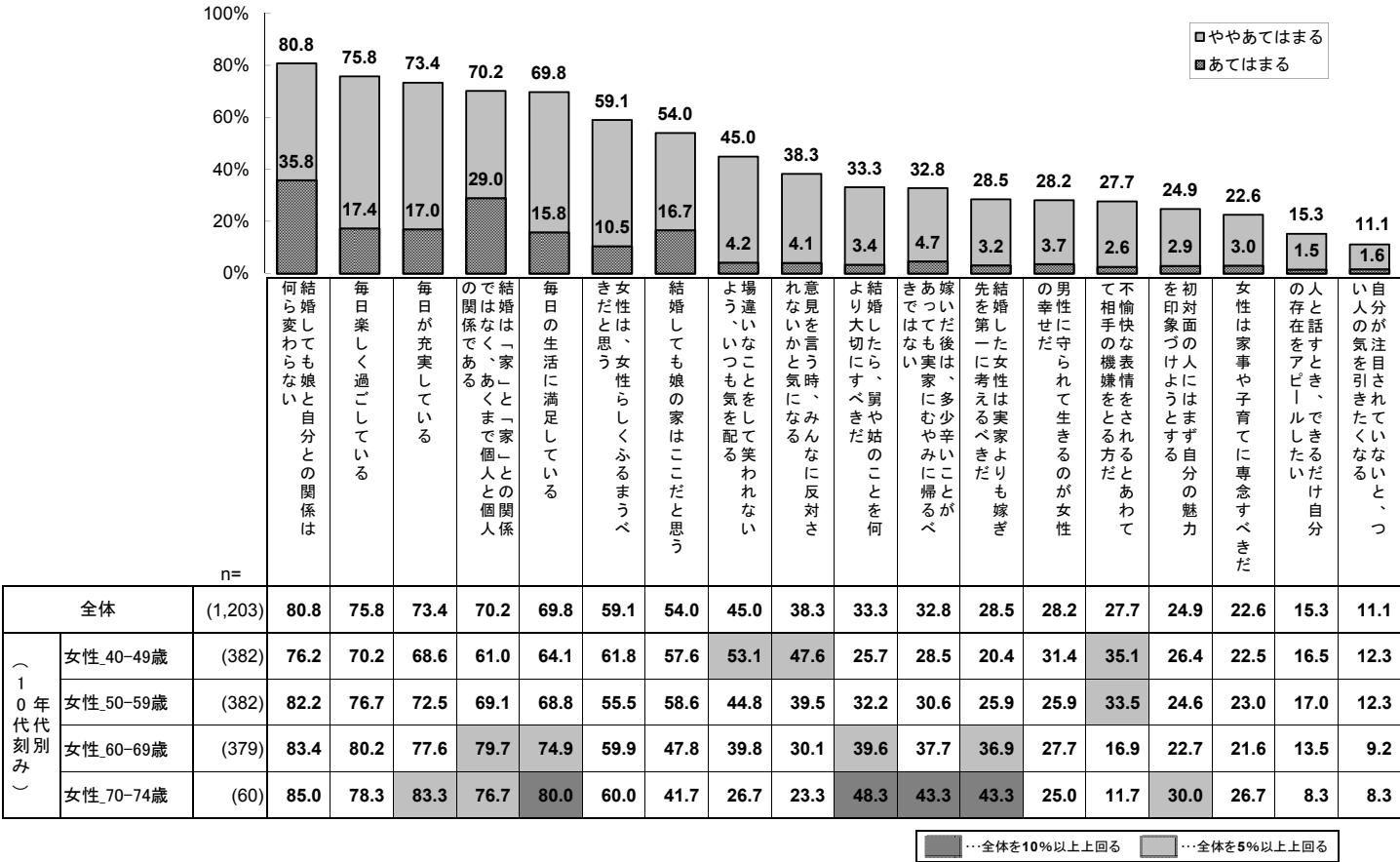
※本項の設問：あなたが〇〇さんに勧めたり、着用してほしい下着について、以下の項目はどの程度あてはまりますか？あてはまる程度を選んでください。（単一回答）

選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」から、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

7. 対象者の意識・価値観

■ 「結婚しても娘と自分との関係は何ら変わらない」が8割、
「結婚は『家』と『家』との関係ではなく、あくまで個人と個人
の関係である」が7割と高い。

- ・ 一方で、「結婚したら、舅や姑のことを何より大切にすべきだ」「嫁いだ後は、多少辛いことがあっても実家にむやみに帰るべきではない」は3割と少なくなっています。
- ・ 「結婚しても娘の家はここだと思う」も半数を超えており、特に若い年代ほど高い傾向があります。
- ・ 「結婚したら、舅や姑のことを何より大切にすべきだ」「嫁いだ後は、多少辛いことがあっても実家にむやみに帰るべきではない」は高い年代で高めですが、「結婚は『家』と『家』との関係ではなく、あくまで個人と個人の関係である」もこの年代で高い傾向にあります。



※本項の設問： あなた自身のことについてうかがいます。日常生活の中で、以下の項目は、あなた自身の考え方にどの程度あてはまりますか。あてはまる程度を選んでください。(単一回答)
選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」から、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

この報告書に関するお問い合わせ先

株式会社ワコール 総合企画室 広報・宣伝部

（京都） TEL 075-682-1006 FAX 075-682-1103

（東京） TEL 03-3239-1117 FAX 03-3239-1118